

## 第2章

# 静岡市の子ども・子育てを取り巻く現状と課題

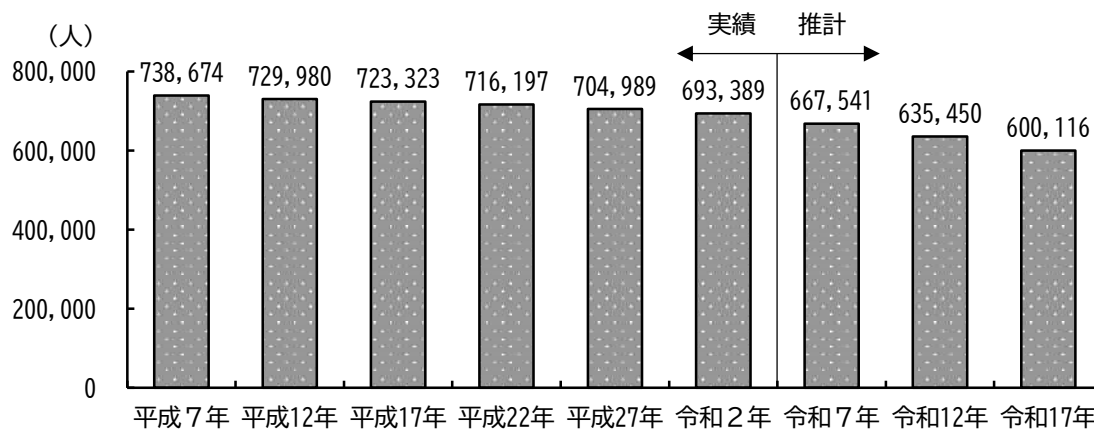
## 第1節 子ども・子育てを取り巻く現状

### 1 人口の推移

本市は、平成15年（2003年）に旧静岡市と旧清水市が合併して70万人都市として新たに誕生し、平成17年（2005年）には指定都市となりました。その後、平成18年（2006年）に旧蒲原町、平成20年（2008年）に旧由比町と合併しましたが、平成7年（1995年）以降の人口をみると、平成7年（1995年）をピークに減少し続けています。

全国的に人口減少・少子高齢化が進む中、本市の人口は、令和2年（2020年）国勢調査において70万人を下回り、本市の独自推計では、令和17年（2035年）に約60万人になる見通しです。

<図1 静岡市の人口の推移と将来推計>

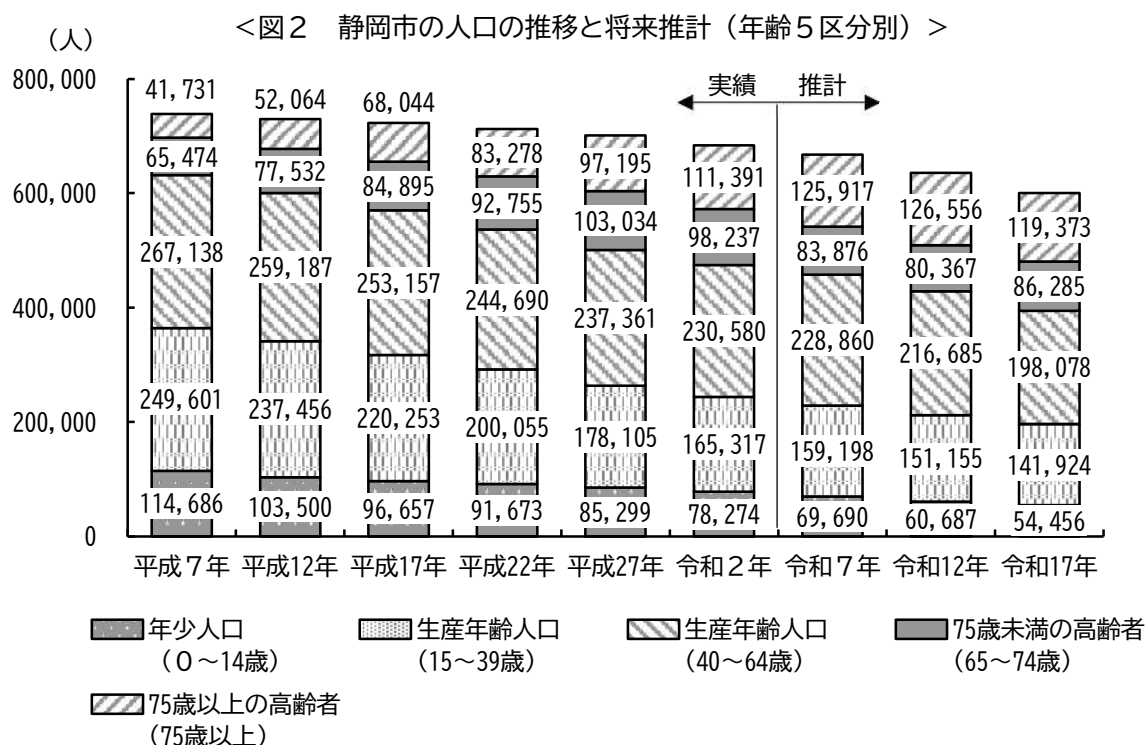


※ 不詳を含む

資料：令和2年までは総務省「国勢調査」、令和7年からは「静岡市将来推計人口（市独自推計）」を基に作成

本市の平成7年（1995年）以降の人口を年齢別（5区分）でみると、年少人口（0～14歳）は、平成7年（1995年）は約11.4万人でしたが、令和2年（2020年）には約7.8万人まで減少しています。今後も同様の傾向が見込まれており、令和17年（2035年）には年少人口は約5.4万人まで減少すると推計されています。

一方、老年人口（65歳以上）は、平成7年（1995年）は約10.7万人でしたが、令和2年（2020年）は約20.9万人まで増加しています。今後は減少の傾向が見込まれており、令和17年（2035年）には老年人口は約20.5万人まで減少すると推計されています。



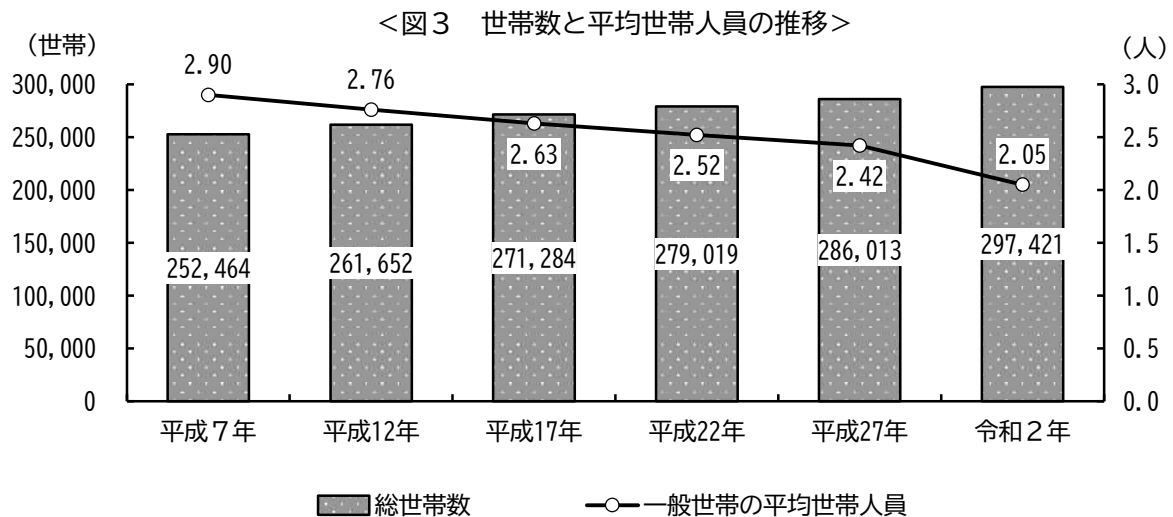
※ 不詳を除く

資料：令和2年までは総務省「国勢調査」、令和7年からは「静岡市将来推計人口（市独自推計）」を基に作成

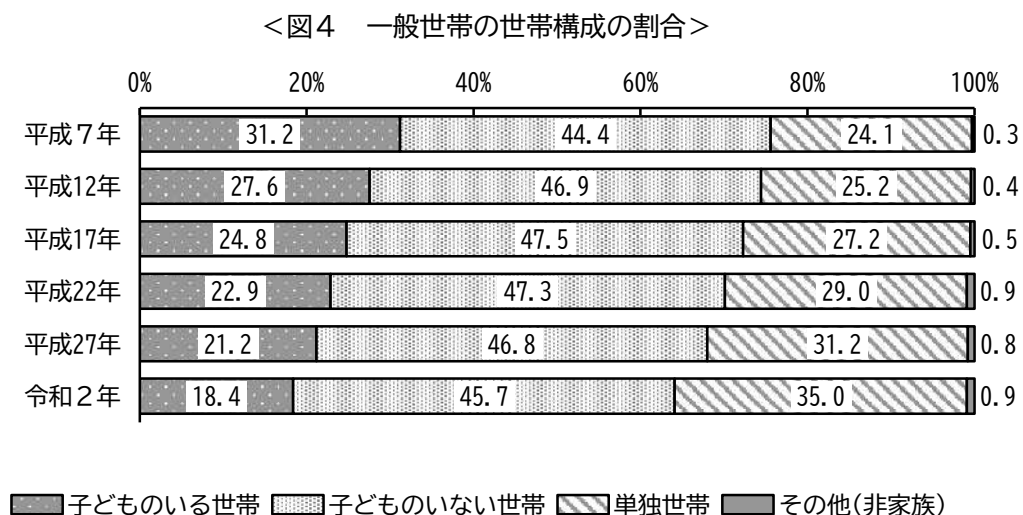
## 2 世帯数の推移

本市の平成7年（1995年）以降の世帯数は、令和2年（2020年）にかけて増加している一方で、平均世帯人員は減少しています。

また、一般世帯の世帯構成の割合をみると、子どものいる世帯の割合が減少しています。さらに、子どものいる一般世帯構成の割合では、核家族世帯の割合が増え、祖父母・両親・子どもで構成される3世代等の核家族以外の世帯の割合が減少しています。

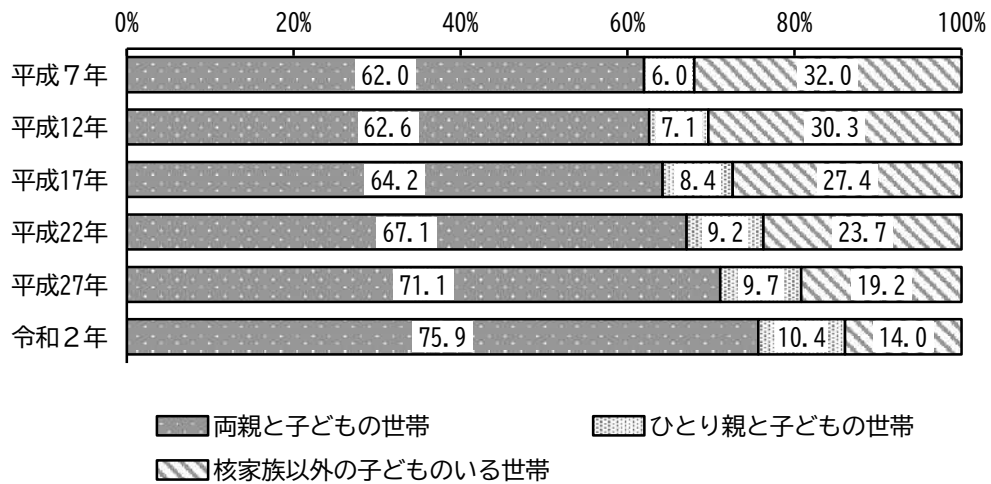


※ 総世帯数：一般世帯のほか施設等の世帯すべてを含む  
資料：総務省「国勢調査」



※ 子どもは18歳未満。また、施設等世帯は除く  
資料：総務省「国勢調査」

<図5 子どものいる一般世帯構成の割合>



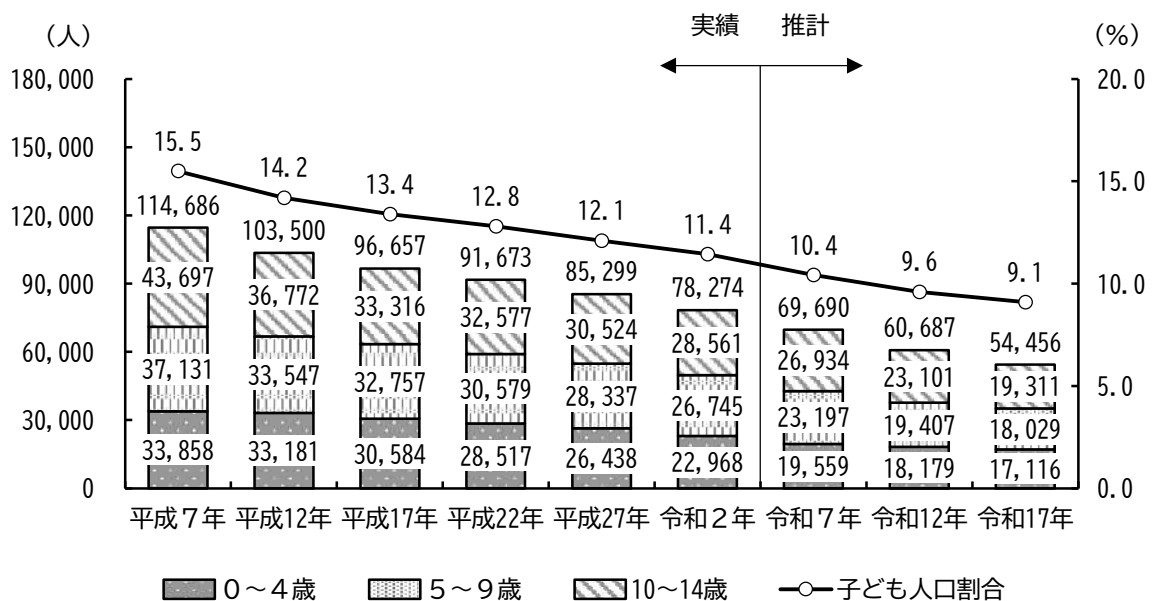
※ 子どもは18歳未満。また、施設等世帯は除く  
 資料：総務省「国勢調査」

### 3 子どもの数の推移

本市の年齢（5歳階級）別の子どもの数を平成7年（1995年）と令和2年（2020年）とで比較すると、0～4歳で32.2%の減、5～9歳で28.0%の減、10～14歳で34.6%の減となっています。今後について、令和2年（2020年）と令和17年（2035年）の推計値を比較すると、0～4歳で25.5%の減、5～9歳で32.6%の減、10～14歳で32.4%の減が見込まれています。

また、人口に占める子ども（0～14歳）の人口割合も減少を続け、令和12年（2030年）には10%を下回り、少子化がさらに進むことが予測されます。

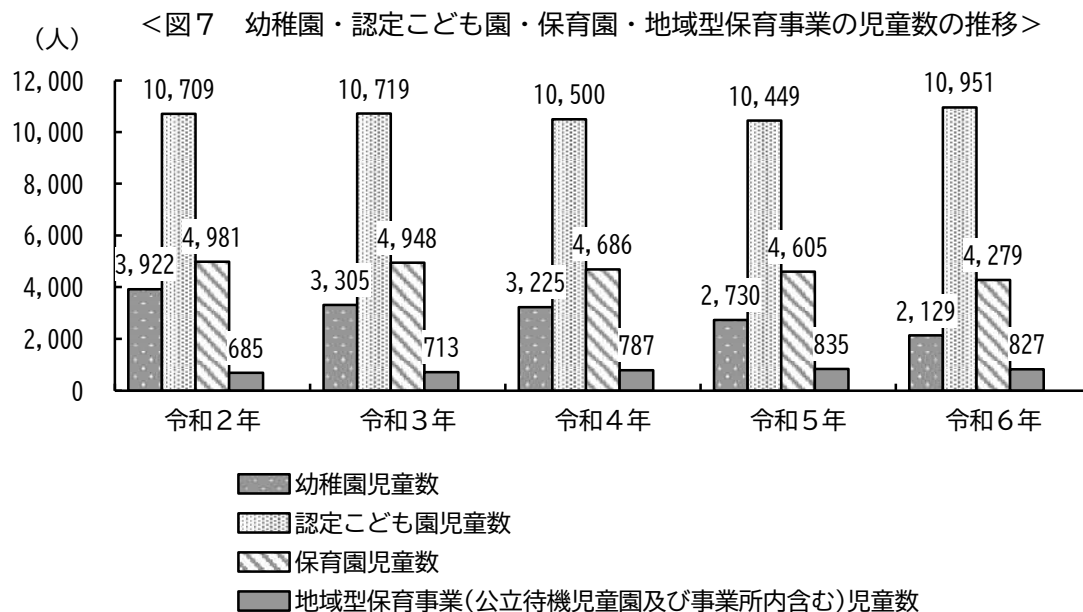
<図6 静岡市の子どもの数の推移と将来推計>



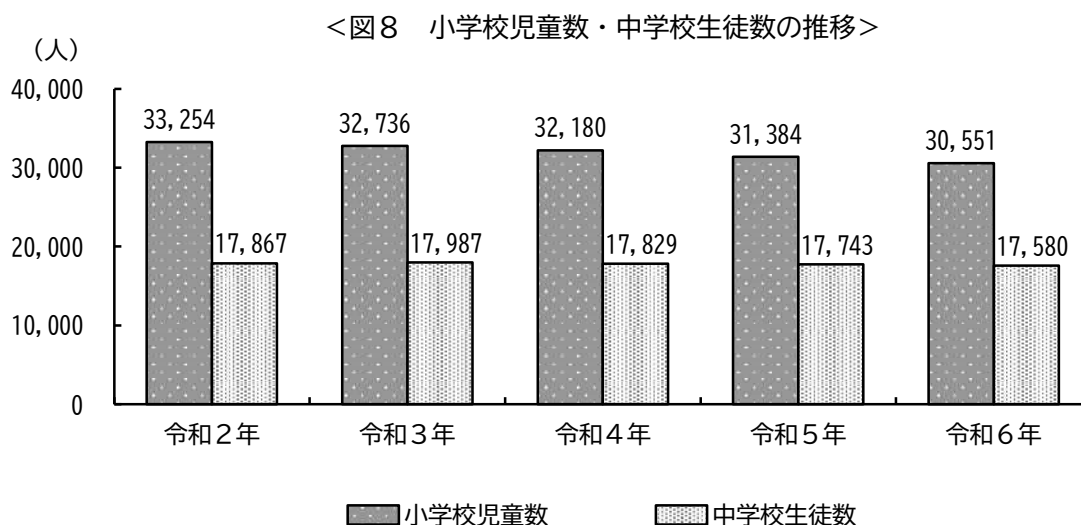
資料：令和2年までは総務省「国勢調査」、令和7年からは「静岡市将来推計人口（市独自推計）」を基に作成

## 4 幼稚園・認定こども園・保育園・地域型保育事業・学校の児童数・生徒数の推移

令和2年（2020年）以降の幼稚園児童数と保育園児童数をみると、年々減少しています。  
一方、認定こども園児童数と地域型保育事業児童数では増減を繰り返しており、令和6年（2024年）の認定こども園児童数は、10,951人となっています。  
また、小学校児童数と中学校生徒数は、減少傾向となっています。



※ 幼稚園児童数は幼稚園により各年4月1日または5月1日、幼稚園児童数以外は各年4月1日現在（広域入所児童数を除く）  
資料：「静岡市子ども未来課」



※ 市内にある国公立小学校の児童数・中学校の生徒数で、各年5月1日現在の数値  
資料：「静岡県学校基本統計」

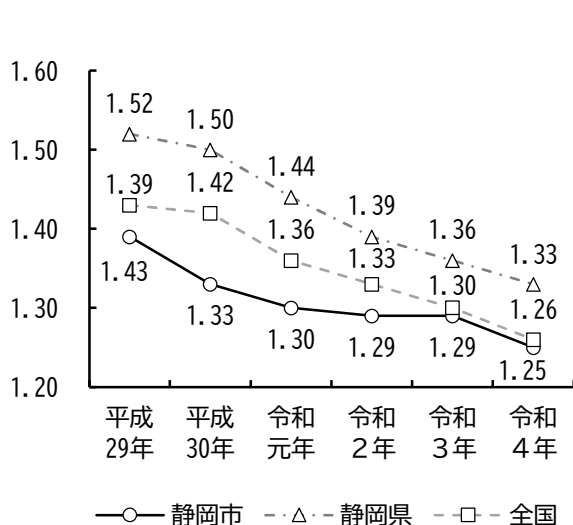
## 5 出生数の推移

本市の平成29年（2017年）以降の合計特殊出生率は、全国や静岡県の数値と比べて低い数値で推移しており、令和4年（2022年）は1.25（全国1.26）となっています。

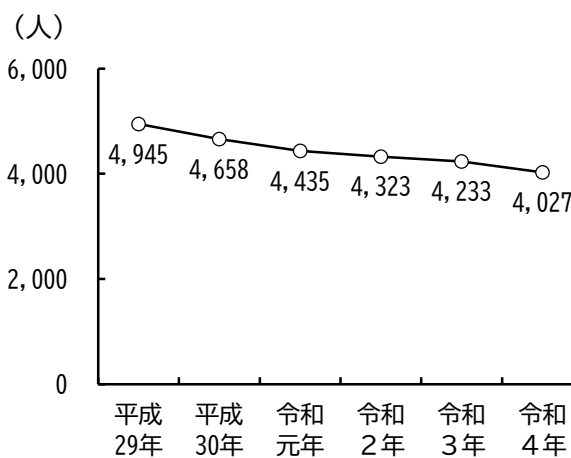
平成29年（2017年）以降の出生数をみると、年々減少しており、令和4年（2022年）には4,027人に減少しています。

また、人口自然増加率について各指定都市と比較してみると、本市の人口自然増加率は最も低い状況にあります。

<図9 合計特殊出生率の推移>



<図10 出生数の推移>



資料：「住民基本台帳」

資料：厚生労働省「人口動態統計」等

※ 合計特殊出生率：15歳から49歳までの女性の年齢別の出生率を合計したもので、一人の女性が平均して一生の間に何人の子どもを生むかを表している。合計特殊出生率が2.08を下回ると、人口は減少に転ずるといわれている。

<図11 各指定都市の人口自然増加率>

| 指定都市  | 出生  | 死亡   | 自然増加 | 指定都市 | 出生  | 死亡   | 自然増加 |
|-------|-----|------|------|------|-----|------|------|
| 札幌市   | 5.7 | 11.9 | △6.3 | 名古屋市 | 7.0 | 11.2 | △4.2 |
| 仙台市   | 6.4 | 9.9  | △3.5 | 京都市  | 5.8 | 11.8 | △6.1 |
| さいたま市 | 7.2 | 9.9  | △2.7 | 大阪市  | 6.7 | 12.4 | △5.7 |
| 千葉市   | 5.9 | 11.1 | △5.2 | 堺市   | 6.5 | 12.5 | △6.0 |
| 横浜市   | 6.1 | 10.4 | △4.3 | 神戸市  | 5.9 | 11.9 | △6.0 |
| 川崎市   | 7.3 | 8.8  | △1.5 | 岡山市  | 7.2 | 11.2 | △4.0 |
| 相模原市  | 5.7 | 11.0 | △5.3 | 広島市  | 7.0 | 10.2 | △3.2 |
| 新潟市   | 6.1 | 12.9 | △6.9 | 北九州市 | 6.4 | 13.9 | △7.5 |
| 静岡市   | 5.8 | 13.6 | △7.8 | 福岡市  | 7.5 | 8.9  | △1.4 |
| 浜松市   | 6.3 | 12.0 | △5.7 | 熊本市  | 7.8 | 11.2 | △3.3 |

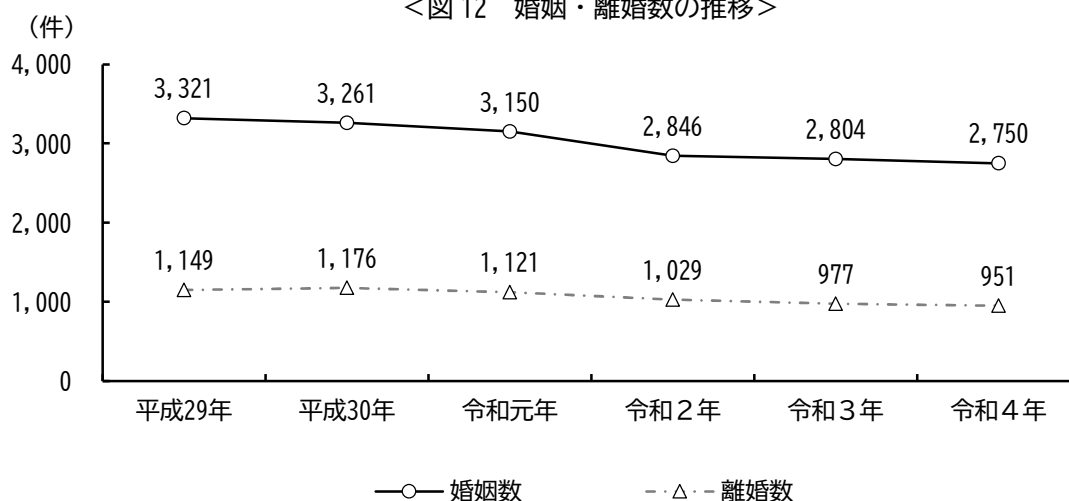
資料：厚生労働省「人口動態統計」（令和4年）

## 6 婚姻・離婚数等の推移

本市の平成29年（2017年）以降の婚姻数は、減少傾向にあり、平成29年（2017年）と令和4年（2022年）を比較すると571件減少しています。離婚数も平成30年（2018年）以降、減少しています。

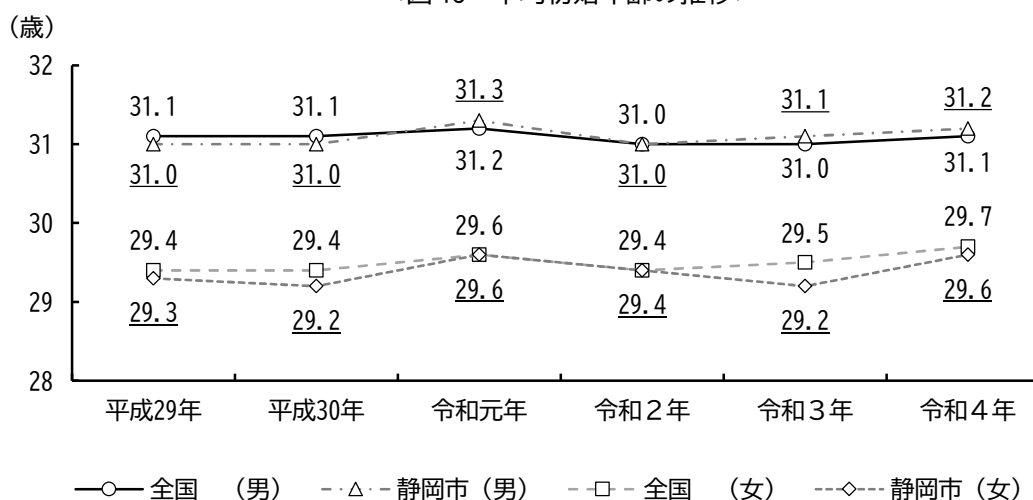
また、平均初婚年齢は、令和4年（2022年）では男性が31.2歳（全国31.1歳）、女性が29.6歳（全国29.7歳）となっています。

<図12 婚姻・離婚数の推移>



資料：静岡市「静岡市統計書」

<図13 平均初婚年齢の推移>



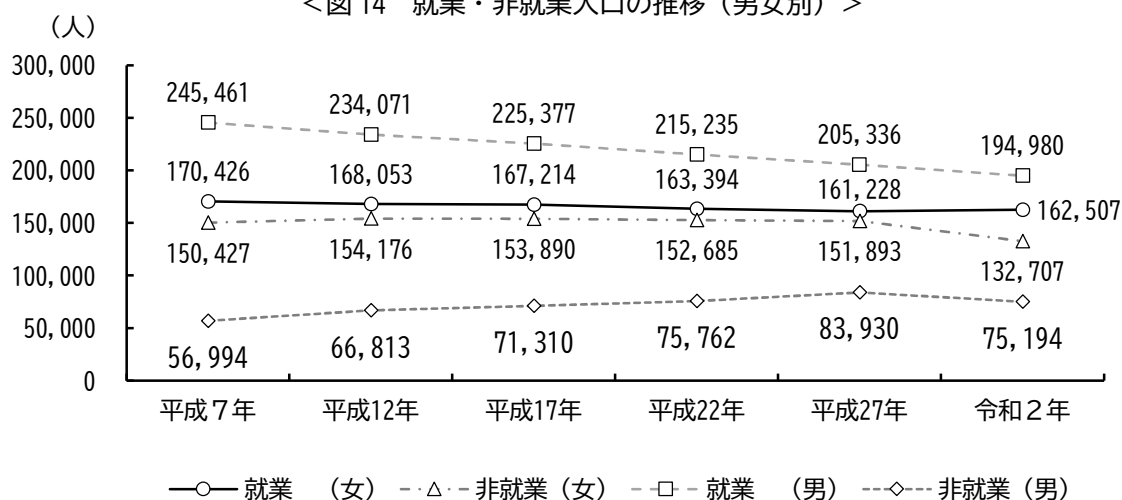
資料：厚生労働省「人口動態統計」

## 7 就業人口等の推移

本市の平成7年（1995年）以降の就業人口は、男女ともに減少の傾向にあり、男女別にみると男性の就業・非就業の人口数が大きく離れているのに対して、女性の就業・非就業の人口数は同程度にあることが特徴として上げられます。

また、女性の年齢別就業率をみると、30代を谷とするいわゆるM字カーブとなっています。これは結婚・出産・育児等の要因により一旦離職した女性が、子育て等が一段落すると再び職に就くという傾向が背景にあるとされており、全国の動向と類似した傾向を示しています。一方、M字カーブの谷となっている30代前後の女性就業率の推移をみると、増加傾向となっており、令和2年（2020年）では72.9%となっています。

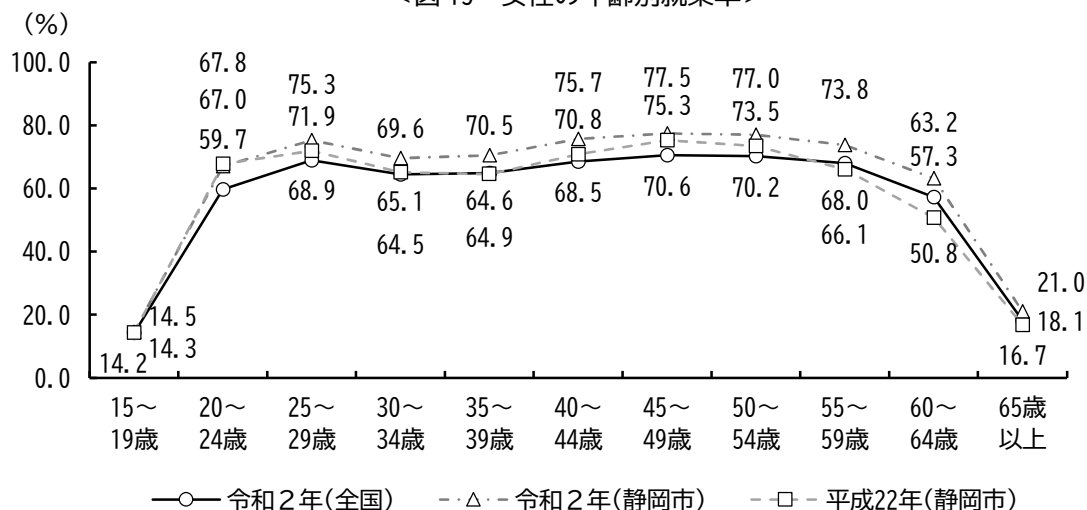
<図14 就業・非就業人口の推移（男女別）>



※ 就業には、失業者（就職活動中）を含む

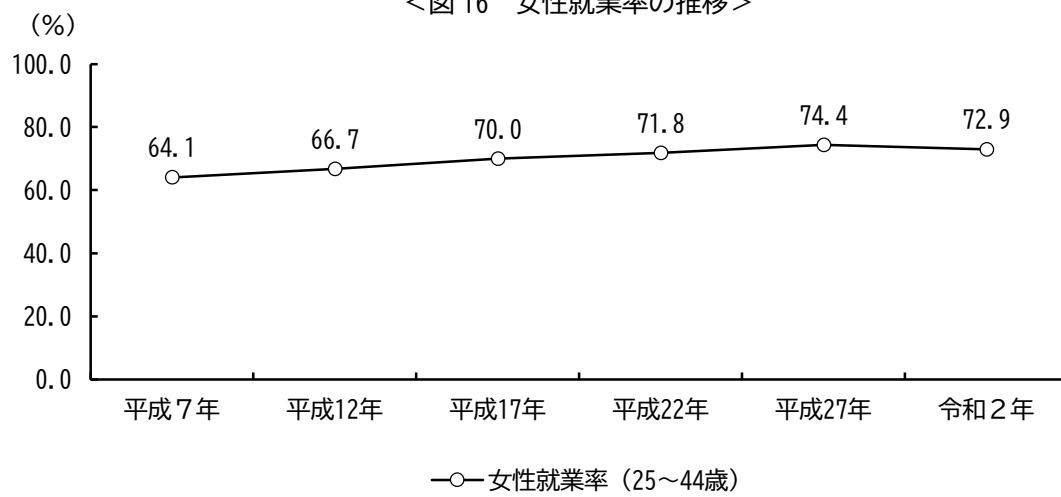
資料：総務省「国勢調査」

<図15 女性の年齢別就業率>



資料：総務省「国勢調査」

<図 16 女性就業率の推移>

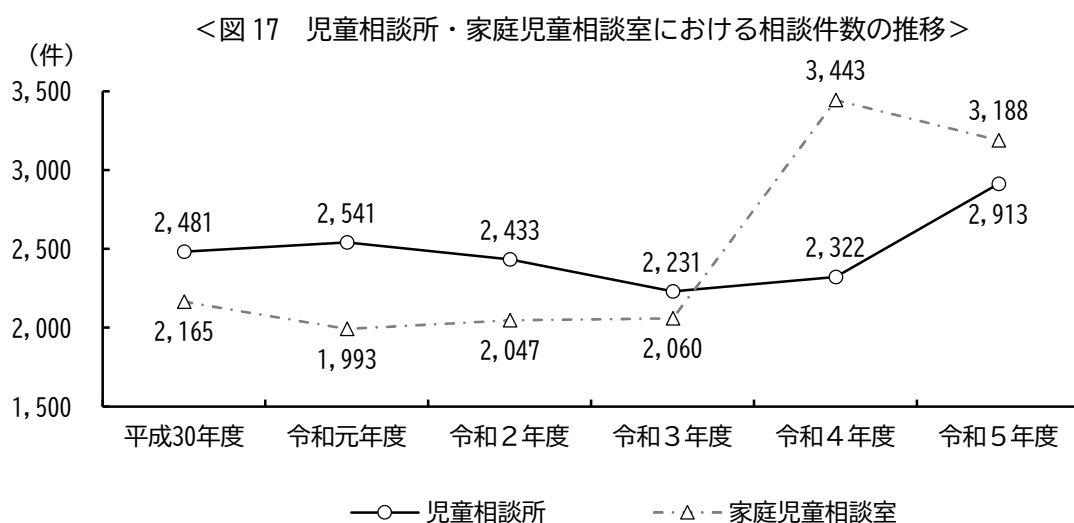


資料：総務省「国勢調査」

## 8 児童相談所及び家庭児童相談室における相談状況

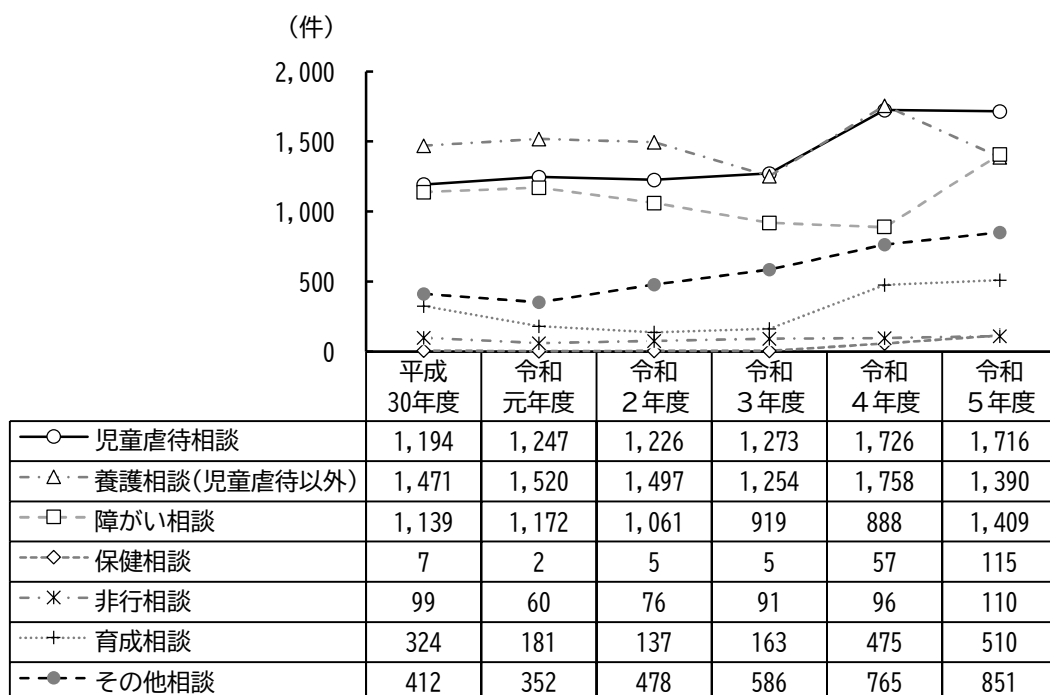
平成30年度（2018年度）以降の児童相談所における相談件数は、令和3年度（2021年度）まで減少傾向にありましたが、令和4年度（2022年度）には増加に転じています。また、家庭児童相談室の相談件数は、令和4年度（2022年度）に大きく増加しましたが、令和5年度（2023年度）は、減少に転じています。

相談内容別では、児童虐待相談、養護相談（児童虐待以外）、障がい相談が多い状況にあり、適切な養育が受けられない子どもの増加や子育て家庭の孤立化、子育てに関する不安や悩みの高まり等が相談件数の増加につながっていることが考えられます。



資料：「静岡市児童相談所、子ども家庭課」

＜図 18 児童相談所・家庭児童相談室における相談内容別にみた相談件数の推移＞



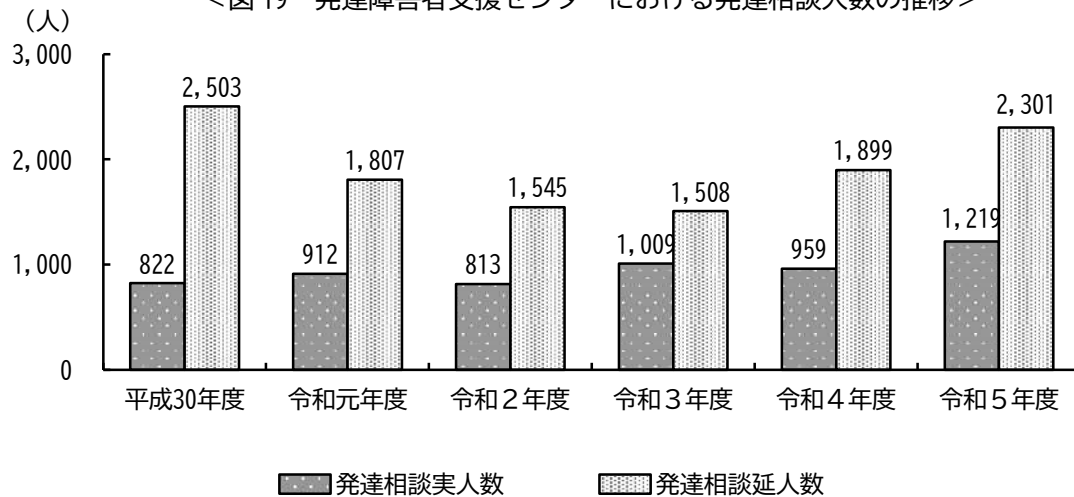
資料：「静岡市児童相談所、子ども家庭課」

## 9 発達相談の状況及び児童通所サービスの利用状況

平成30年度（2018年度）以降の発達障害者支援センターにおける発達相談の延人数は、令和3年度（2021年度）まで減少していましたが、令和4年度（2022年度）以降は増加しています。

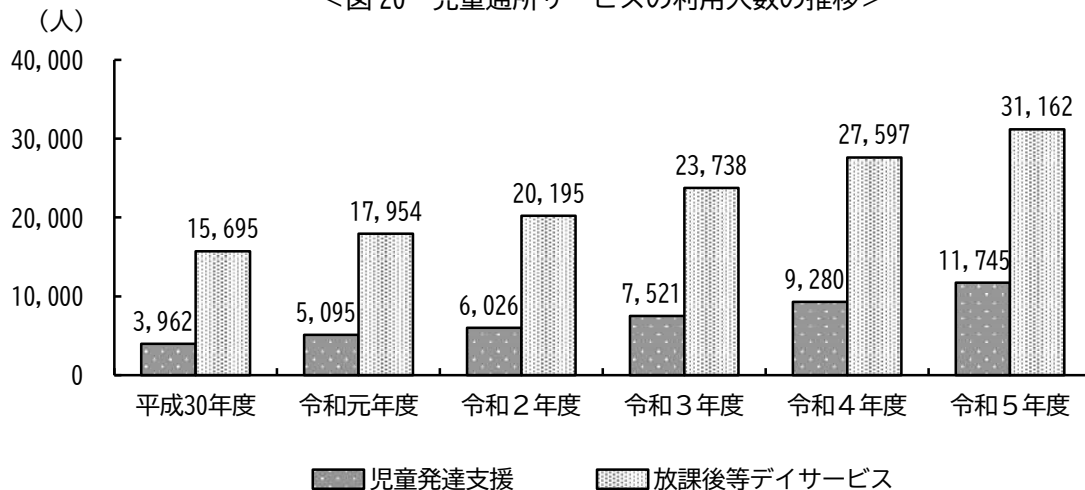
また、児童通所サービスの利用人数は児童発達支援と放課後等デイサービスのいずれも増加傾向となっています。

<図 19 発達障害者支援センターにおける発達相談人数の推移>



資料：「静岡市障害福祉企画課」

<図 20 児童通所サービスの利用人数の推移>

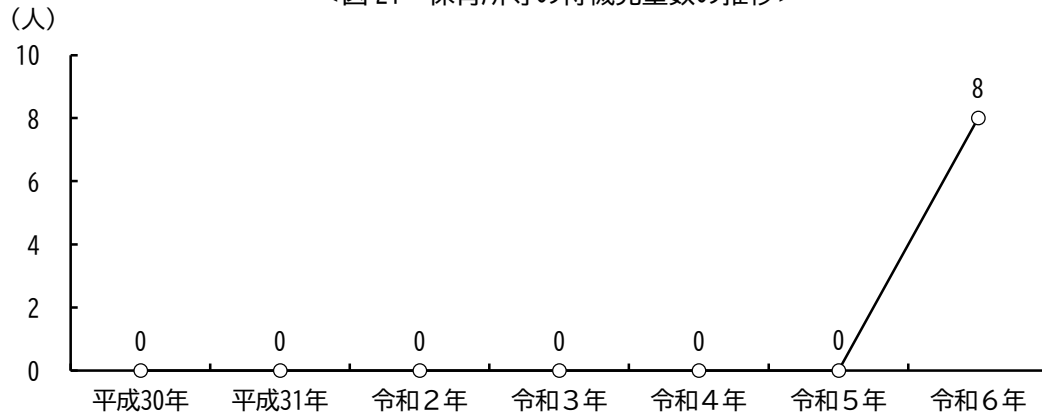


資料：「静岡市障害者支援推進課」

## 10 保育所等の待機児童の状況

平成30年（2018年）以降の保育所等の待機児童数は、令和5年（2023年）まで0人でしたが、令和6年（2024年）に8人になっています。

<図 21 保育所等の待機児童数の推移>



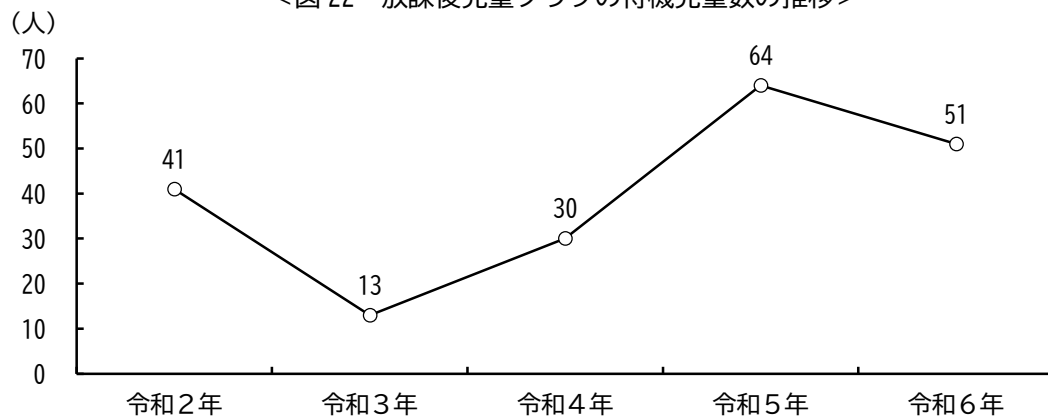
※ 各年4月1日現在

資料：「静岡市子ども未来課」

## 11 放課後児童クラブの待機児童の状況

令和2年（2020年）以降の放課後児童クラブの待機児童数は、令和3年（2021年）に13人まで減少して以降、令和5年（2023年）にかけて64人まで増加しましたが、再び減少に転じ、令和6年（2024年）には、51人になっています。

<図 22 放課後児童クラブの待機児童数の推移>



※ 各年5月1日現在

資料：「静岡市子ども未来課」

## 第2節 調査結果からみた静岡市の現状

### 1 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」概要

#### ① 調査の目的

本計画における子ども・子育て支援給付に係る教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の需要量の見込み等を設定する上で基礎資料とするため、市民の子育てに関する生活実態や子育て支援の利用状況、利用希望等のニーズを把握することを目的として実施しました。

#### ② 調査の設計

- 1 調査地域 静岡市内全域
- 2 調査対象 就学前児童用：就学前児童（0～5歳）を養育する保護者 5,000人  
就学児童用：小学生（1年生～6年生）を養育する保護者 2,000人
- 3 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- 4 調査方法 郵送配布、郵送回収・WEB回答
- 5 調査期間 郵送回答：令和5年（2023年）12月1日～令和5年（2023年）12月31日  
WEB回答：令和5年（2023年）12月1日～令和6年（2024年）1月12日

#### ③ 調査の回収結果

|        | 発送数     | 郵送回収数   | WEB 回答  | 有効回収数※  | 有効回収率 |
|--------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 就学前児童用 | 5,000 人 | 1,364 人 | 1,047 人 | 2,411 人 | 48.2% |
| 就学児童用  | 2,000 人 | 479 人   | 444 人   | 923 人   | 46.2% |

※ 有効回収数とは、回収数から白紙回答などの無効回答を除いた数のことです。

#### ④ 調査結果の表示方法

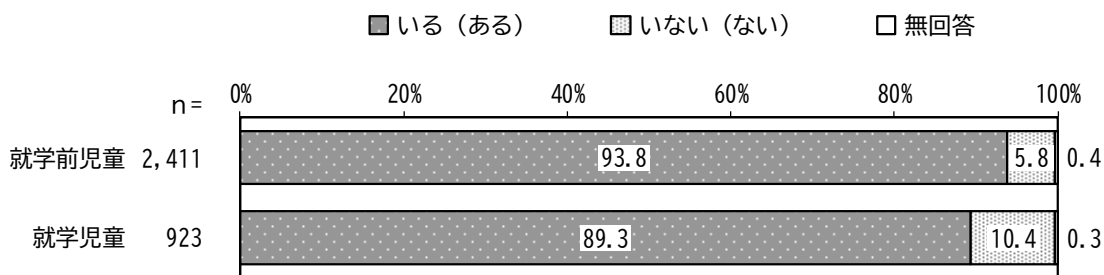
- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- ・基数となるべき調査数は、nと表示しており、回答比率はこれを100%として算出しています。
- ・複数の回答が許されている設問においては、回答比率の合計が100%を超えることがあります。

## 2 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」結果

以下、主な調査結果について説明します。

### ① 相談相手（場所）の有無（単数回答）

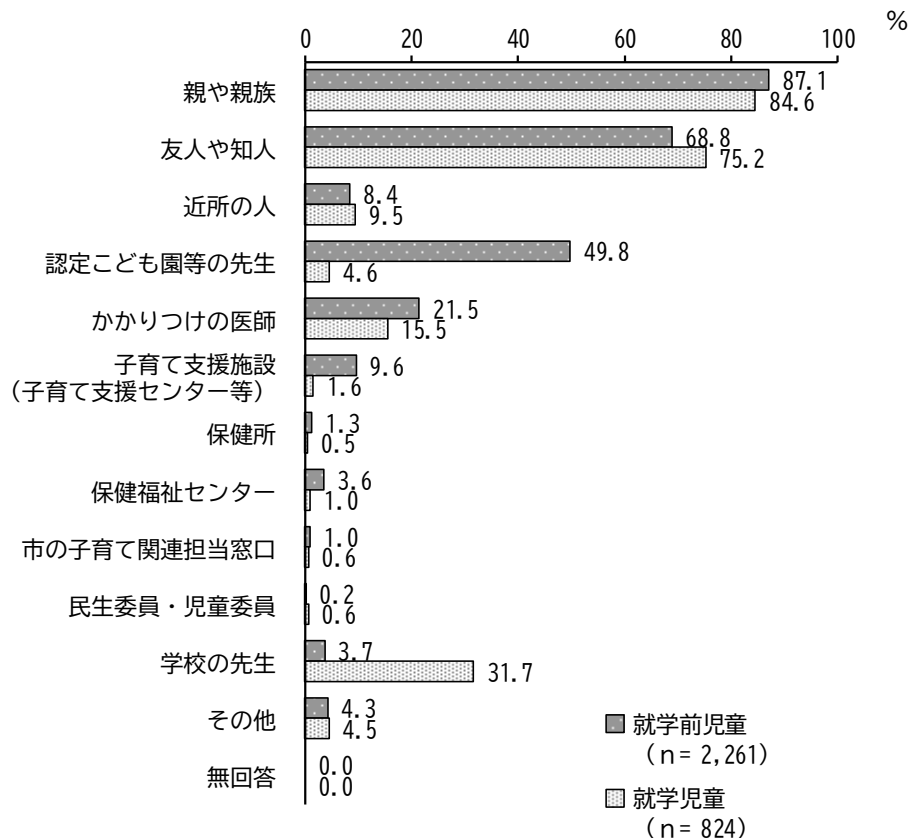
就学前児童では、「いる（ある）」が93.8%、「いない（ない）」が5.8%となっています。  
就学児童では、「いる（ある）」が89.3%、「いない（ない）」が10.4%となっています。



### ② 相談相手（場所）（複数回答）

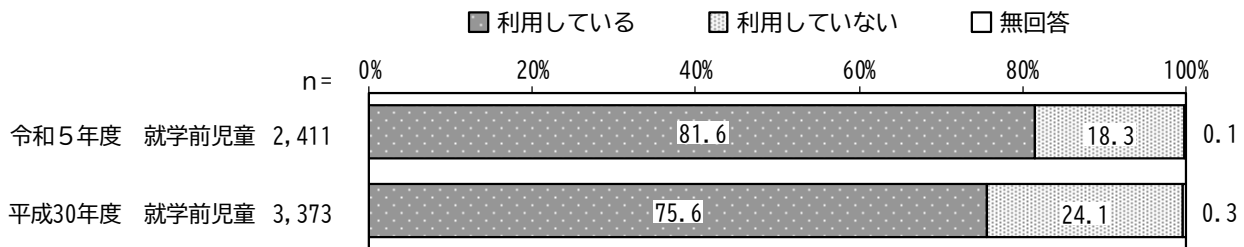
就学前児童では、「親や親族」が87.1%と最も高く、次いで「友人や知人」が68.8%、「認定こども園等の先生」が49.8%、「かかりつけの医師」が21.5%などとなっています。

就学児童では、「親や親族」が84.6%と最も高く、次いで「友人や知人」が75.2%、「学校の先生」が31.7%、「かかりつけの医師」が15.5%などとなっています。



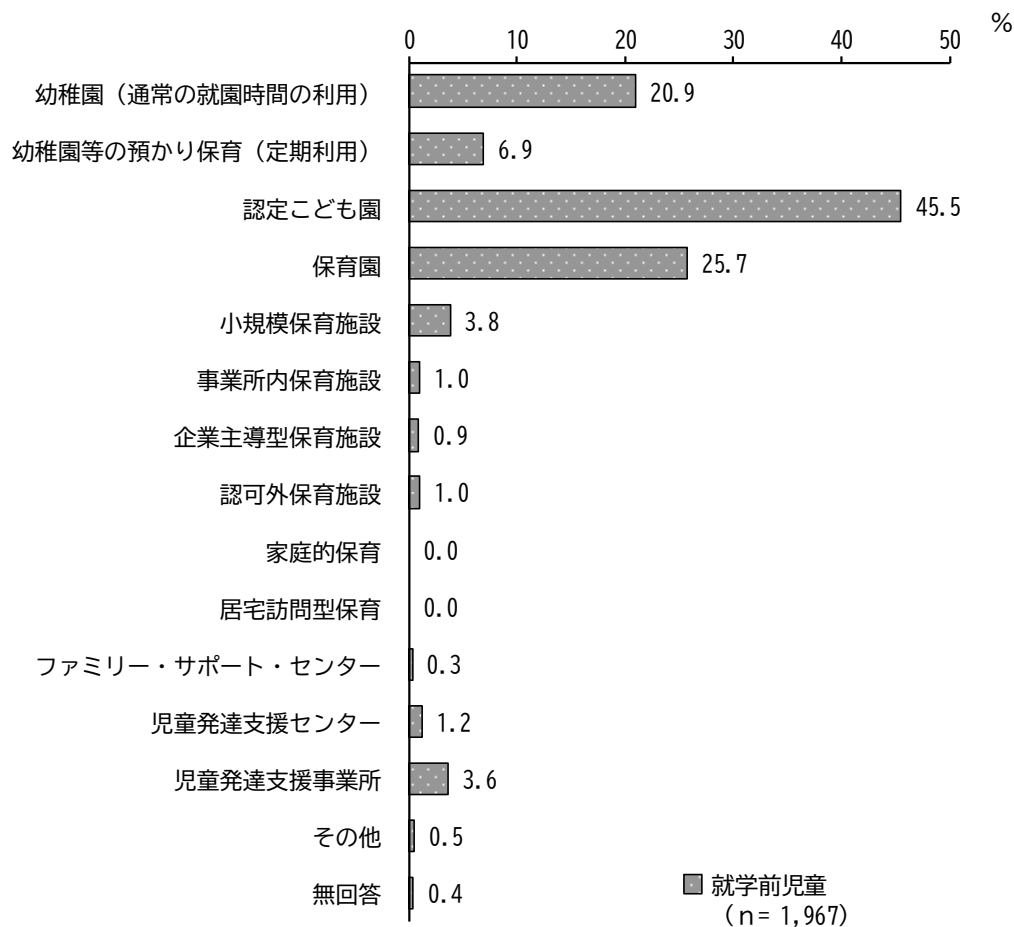
### ③ 平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無（単数回答）

「利用している」が81.6%、「利用していない」が18.3%となっていて、「利用している」が前回調査よりも高くなっています。



### ④ 平日の定期的な教育・保育事業として利用している事業（複数回答）

「認定こども園」が45.5%と最も高く、次いで「保育園」が25.7%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が20.9%、「幼稚園等の預かり保育（定期利用）」が6.9%、「小規模保育施設」が3.8%などとなっています。



## 【年齢別】

年齢別にみると、“0歳”では「保育園」が最も高くなっています。“1歳”～“5歳”では「認定こども園」が最も高くなっています。

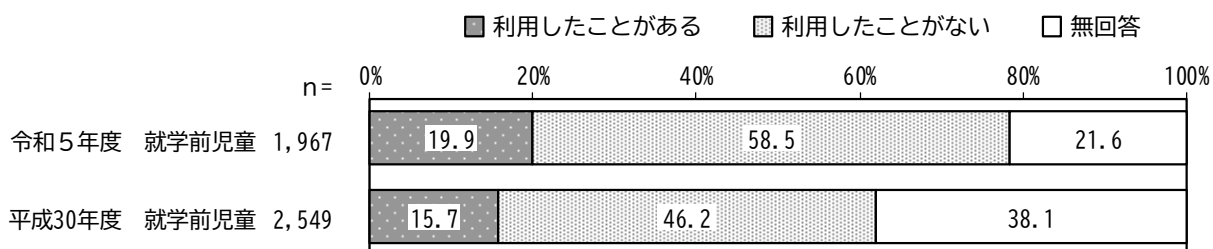
(上段：実数、下段：%)

|     | 調査数   | 幼稚園<br>(通常の<br>就園時間<br>の利用) | 幼稚園等<br>の預かり<br>保育(定<br>期利用) | 認定<br>こども園 | 保育園  | 小規模<br>保育施設 | 事業所内<br>保育施設 | 企業主導<br>型保育施<br>設 |
|-----|-------|-----------------------------|------------------------------|------------|------|-------------|--------------|-------------------|
| 0歳  | 121   | —                           | 2                            | 46         | 49   | 15          | 3            | 1                 |
|     | 100.0 | —                           | 1.7                          | 38.0       | 40.5 | 12.4        | 2.5          | 0.8               |
| 1歳  | 250   | —                           | 3                            | 97         | 92   | 31          | 5            | 8                 |
|     | 100.0 | —                           | 1.2                          | 38.8       | 36.8 | 12.4        | 2.0          | 3.2               |
| 2歳  | 308   | 56                          | 9                            | 124        | 89   | 24          | 5            | 7                 |
|     | 100.0 | 18.2                        | 2.9                          | 40.3       | 28.9 | 7.8         | 1.6          | 2.3               |
| 3歳  | 419   | 120                         | 28                           | 195        | 96   | 2           | 2            | —                 |
|     | 100.0 | 28.6                        | 6.7                          | 46.5       | 22.9 | 0.5         | 0.5          | —                 |
| 4歳  | 417   | 96                          | 40                           | 222        | 91   | —           | 1            | 1                 |
|     | 100.0 | 23.0                        | 9.6                          | 53.2       | 21.8 | —           | 0.2          | 0.2               |
| 5歳  | 451   | 139                         | 53                           | 210        | 88   | 3           | 3            | 1                 |
|     | 100.0 | 30.8                        | 11.8                         | 46.6       | 19.5 | 0.7         | 0.7          | 0.2               |
| 無回答 | 1     | —                           | —                            | 1          | —    | —           | —            | —                 |
|     | 100.0 | —                           | —                            | 100.0      | —    | —           | —            | —                 |

|     | 認可外<br>保育施設 | 家庭的<br>保育 | 居宅訪問<br>型保育 | ファミリ<br>ー・サポ<br>ート・セ<br>ンター | 児童発達<br>支援セン<br>ター | 児童発達<br>支援事業<br>所 | その他 | 無回答 |
|-----|-------------|-----------|-------------|-----------------------------|--------------------|-------------------|-----|-----|
| 0歳  | 1           | —         | —           | —                           | 1                  | —                 | 3   | 1   |
|     | 0.8         | —         | —           | —                           | 0.8                | —                 | 2.5 | 0.8 |
| 1歳  | 10          | —         | —           | 2                           | 5                  | 7                 | 2   | 2   |
|     | 4.0         | —         | —           | 0.8                         | 2.0                | 2.8               | 0.8 | 0.8 |
| 2歳  | 1           | —         | —           | 1                           | 4                  | 8                 | 2   | —   |
|     | 0.3         | —         | —           | 0.3                         | 1.3                | 2.6               | 0.6 | —   |
| 3歳  | 2           | —         | —           | 2                           | 3                  | 13                | —   | 2   |
|     | 0.5         | —         | —           | 0.5                         | 0.7                | 3.1               | —   | 0.5 |
| 4歳  | 2           | —         | —           | —                           | 5                  | 23                | —   | —   |
|     | 0.5         | —         | —           | —                           | 1.2                | 5.5               | —   | —   |
| 5歳  | 3           | —         | —           | 1                           | 5                  | 20                | 3   | 2   |
|     | 0.7         | —         | —           | 0.2                         | 1.1                | 4.4               | 0.7 | 0.4 |
| 無回答 | —           | —         | —           | —                           | —                  | —                 | —   | —   |
|     | —           | —         | —           | —                           | —                  | —                 | —   | —   |

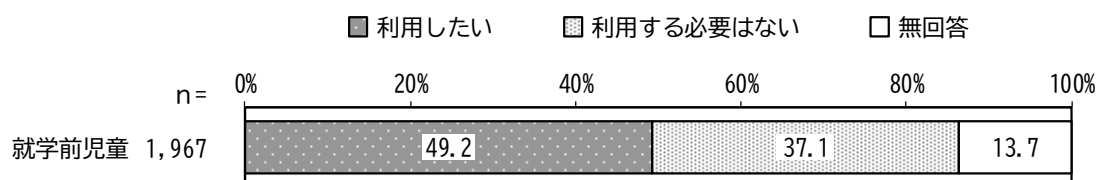
### ⑤ 平日の定期的な教育・保育事業の18時以降の利用の有無（単数回答）

「利用したことがある」が19.9%、「利用したことがない」が58.5%となっていて、「利用したことがある」が前回調査よりも高くなっています。



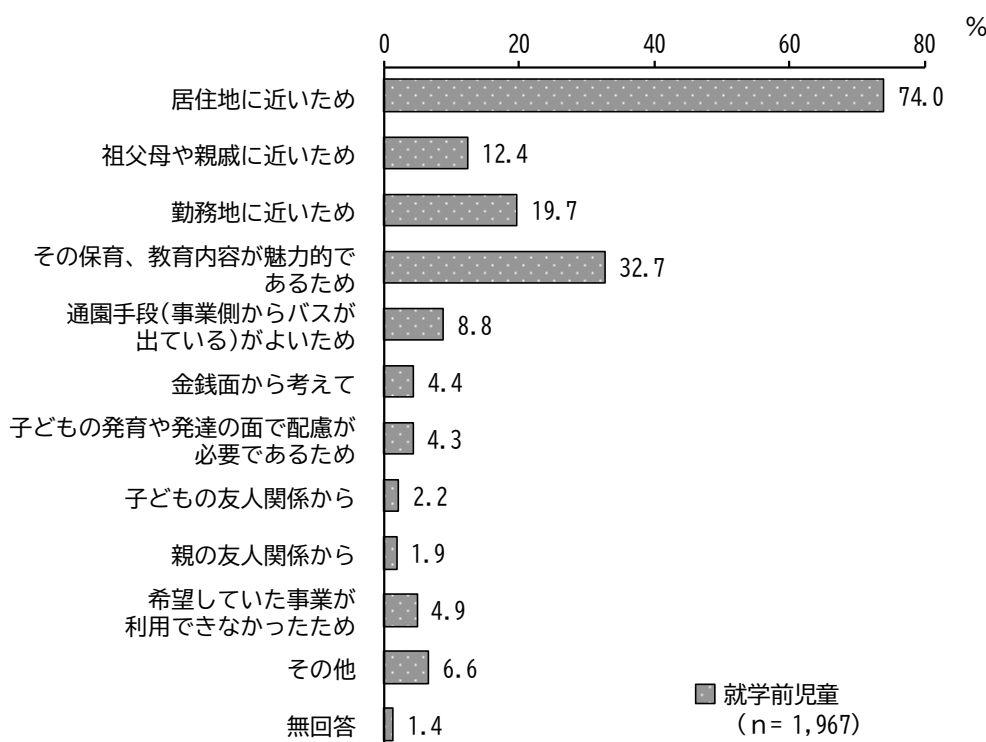
### ⑥ 平日の定期的な教育・保育事業の18時以降の今後の利用希望（単数回答）

「利用したい」が49.2%、「利用する必要はない」が37.1%となっています。



### ⑦ 現在利用している平日の定期的な教育・保育事業を選んだ理由（複数回答）

「居住地に近いため」が74.0%と最も高く、次いで「その保育、教育内容が魅力的であるため」が32.7%、「勤務地に近いため」が19.7%、「祖父母や親戚に近いため」が12.4%、「通園手段(事業側からバスが出ている)がよいため」が8.8%などとなっています。



## 【事業別】

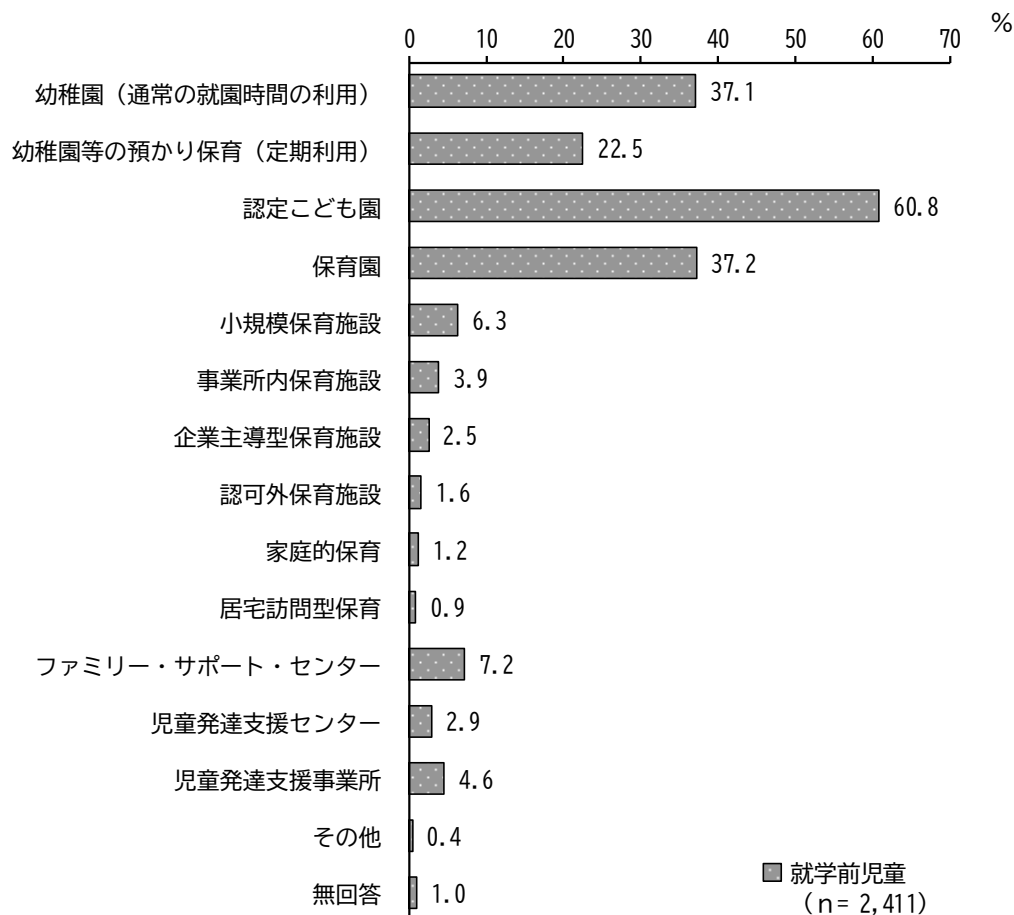
事業別にみると、“幼稚園（通常の就園時間の利用）”と“幼稚園等の預かり保育（定期利用）”、“認定こども園”、“保育園”、“小規模保育施設”、“認可外保育施設”、“児童発達支援事業所”では「居住地に近い」が最も高くなっています。また、“事業所内保育施設”と“企業主導型保育施設”では「勤務地に近い」が最も高くなっています。

（上段：実数、下段：％）

|                  | 調査数   | 居住地に近い | 祖父母や親戚に近い | 勤務地に近い | その保育、教育内容が魅力的であるため | 通園手段（事業側からバスが出ている）がよい | 金銭面から考えて | 子どもの発達や発達の面で配慮が必要であるため | 子どもの友人関係から | 親の友人関係から | 希望していた事業が利用できなかったため | その他  | 無回答 |
|------------------|-------|--------|-----------|--------|--------------------|-----------------------|----------|------------------------|------------|----------|---------------------|------|-----|
| 幼稚園（通常の就園時間の利用）  | 411   | 272    | 25        | 37     | 211                | 103                   | 13       | 17                     | 11         | 9        | 4                   | 19   | 9   |
|                  | 100.0 | 66.2   | 6.1       | 9.0    | 51.3               | 25.1                  | 3.2      | 4.1                    | 2.7        | 2.2      | 1.0                 | 4.6  | 2.2 |
| 幼稚園等の預かり保育（定期利用） | 135   | 99     | 14        | 27     | 60                 | 25                    | 2        | 7                      | 9          | -        | 1                   | 9    | 2   |
|                  | 100.0 | 73.3   | 10.4      | 20.0   | 44.4               | 18.5                  | 1.5      | 5.2                    | 6.7        | -        | 0.7                 | 6.7  | 1.5 |
| 認定こども園           | 895   | 709    | 128       | 175    | 256                | 57                    | 47       | 33                     | 24         | 21       | 33                  | 66   | 8   |
|                  | 100.0 | 79.2   | 14.3      | 19.6   | 28.6               | 6.4                   | 5.3      | 3.7                    | 2.7        | 2.3      | 3.7                 | 7.4  | 0.9 |
| 保育園              | 505   | 392    | 75        | 125    | 131                | 5                     | 17       | 15                     | 6          | 5        | 35                  | 28   | 8   |
|                  | 100.0 | 77.6   | 14.9      | 24.8   | 25.9               | 1.0                   | 3.4      | 3.0                    | 1.2        | 1.0      | 6.9                 | 5.5  | 1.6 |
| 小規模保育施設          | 75    | 51     | 10        | 24     | 20                 | 4                     | 2        | 3                      | -          | -        | 13                  | 6    | 3   |
|                  | 100.0 | 68.0   | 13.3      | 32.0   | 26.7               | 5.3                   | 2.7      | 4.0                    | -          | -        | 17.3                | 8.0  | 4.0 |
| 事業所内保育施設         | 19    | 6      | -         | 11     | 3                  | 2                     | 3        | -                      | -          | -        | 2                   | 3    | -   |
|                  | 100.0 | 31.6   | -         | 57.9   | 15.8               | 10.5                  | 15.8     | -                      | -          | -        | 10.5                | 15.8 | -   |
| 企業主導型保育施設        | 18    | 7      | -         | 12     | 6                  | 1                     | 1        | -                      | -          | -        | 4                   | 4    | -   |
|                  | 100.0 | 38.9   | -         | 66.7   | 33.3               | 5.6                   | 5.6      | -                      | -          | -        | 22.2                | 22.2 | -   |
| 認可外保育施設          | 19    | 10     | 1         | 7      | 7                  | 1                     | 4        | 1                      | -          | 1        | 3                   | 1    | -   |
|                  | 100.0 | 52.6   | 5.3       | 36.8   | 36.8               | 5.3                   | 21.1     | 5.3                    | -          | 5.3      | 15.8                | 5.3  | -   |
| 家庭的保育            | -     | -      | -         | -      | -                  | -                     | -        | -                      | -          | -        | -                   | -    | -   |
| 居宅訪問型保育          | -     | -      | -         | -      | -                  | -                     | -        | -                      | -          | -        | -                   | -    | -   |
| ファミリー・サポート・センター  | 6     | 4      | 1         | 3      | 4                  | 1                     | -        | 1                      | -          | -        | -                   | 3    | -   |
|                  | 100.0 | 66.7   | 16.7      | 50.0   | 66.7               | 16.7                  | -        | 16.7                   | -          | -        | -                   | 50.0 | -   |
| 児童発達支援センター       | 23    | 11     | -         | 1      | 10                 | 2                     | -        | 13                     | -          | -        | 1                   | 1    | -   |
|                  | 100.0 | 47.8   | -         | 4.3    | 43.5               | 8.7                   | -        | 56.5                   | -          | -        | 4.3                 | 4.3  | -   |
| 児童発達支援事業所        | 71    | 55     | 1         | 11     | 18                 | 6                     | 1        | 35                     | -          | -        | 4                   | -    | 1   |
|                  | 100.0 | 77.5   | 1.4       | 15.5   | 25.4               | 8.5                   | 1.4      | 49.3                   | -          | -        | 5.6                 | -    | 1.4 |
| その他              | 10    | 5      | 1         | -      | 4                  | -                     | -        | 2                      | -          | 1        | 1                   | 3    | -   |
|                  | 100.0 | 50.0   | 10.0      | -      | 40.0               | -                     | -        | 20.0                   | -          | 10.0     | 10.0                | 30.0 | -   |
| 無回答              | 7     | 6      | 1         | 2      | 3                  | 1                     | -        | -                      | -          | -        | 1                   | -    | -   |
|                  | 100.0 | 85.7   | 14.3      | 28.6   | 42.9               | 14.3                  | -        | -                      | -          | -        | 14.3                | -    | -   |

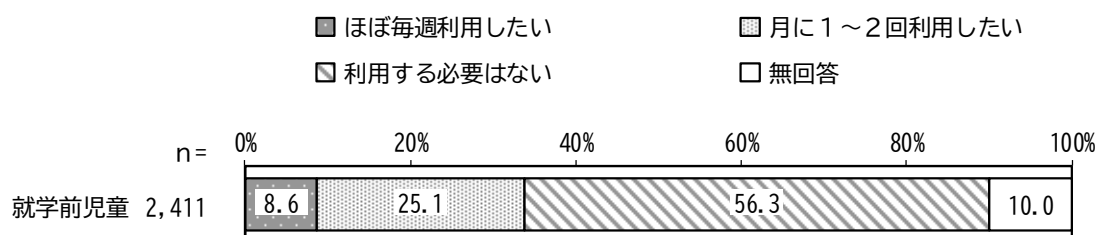
### ⑧ 今後利用したい平日の定期的な教育・保育事業（複数回答）

「認定こども園」が60.8%と最も高く、次いで「保育園」が37.2%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が37.1%、「幼稚園等の預かり保育（定期利用）」が22.5%、「ファミリー・サポート・センター」が7.2%などとなっています。



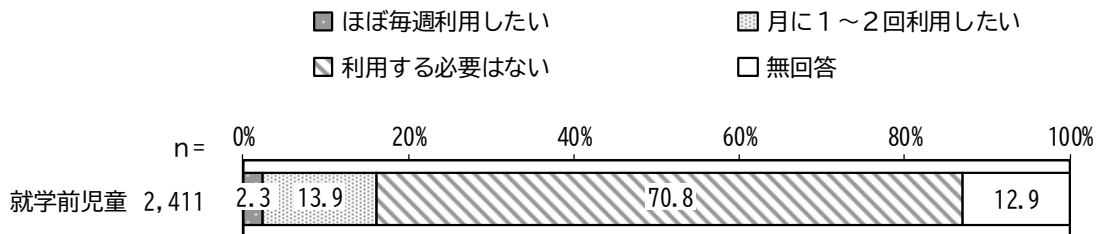
### ⑨ 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望（単数回答）

「ほぼ毎週利用したい」が8.6%、「月に1～2回利用したい」が25.1%、「利用する必要はない」が56.3%となっています。



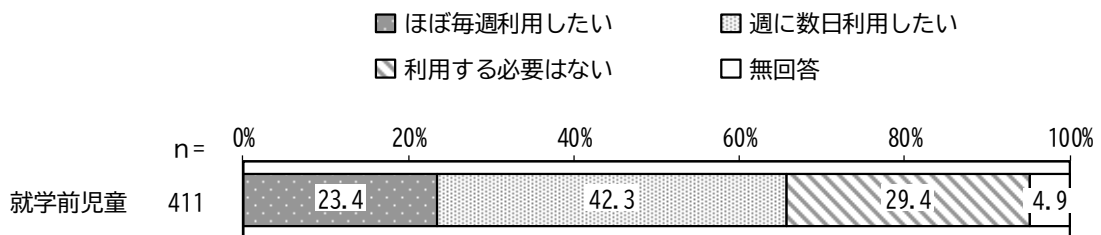
⑩ 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望（単数回答）

「ほぼ毎週利用したい」が2.3%、「月に1～2回利用したい」が13.9%、「利用する必要はない」が70.8%となっています。



⑪ 長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望（単数回答）

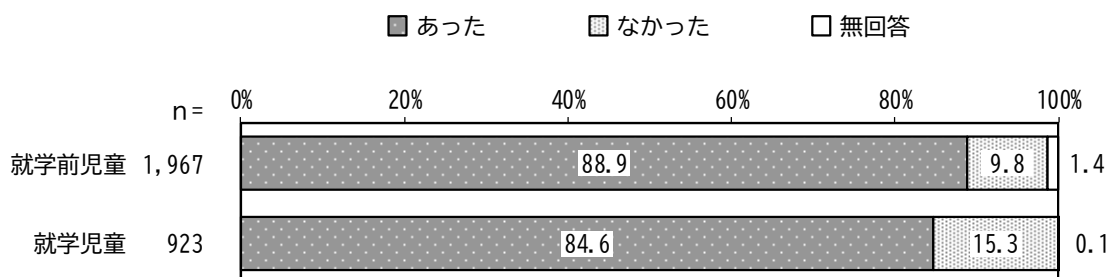
「ほぼ毎日利用したい」が23.4%、「週に数日利用したい」が42.3%、「利用する必要はない」が29.4%となっています。



⑫ この1年間に子どもが病気やけがで、通常利用している教育・保育事業が利用できなかったことや、学校を休まなければならなかったことの有無（単数回答）

就学前児童では、「あった」が88.9%、「なかった」が9.8%となっています。

就学児童では、「あった」が84.6%、「なかった」が15.3%となっています。

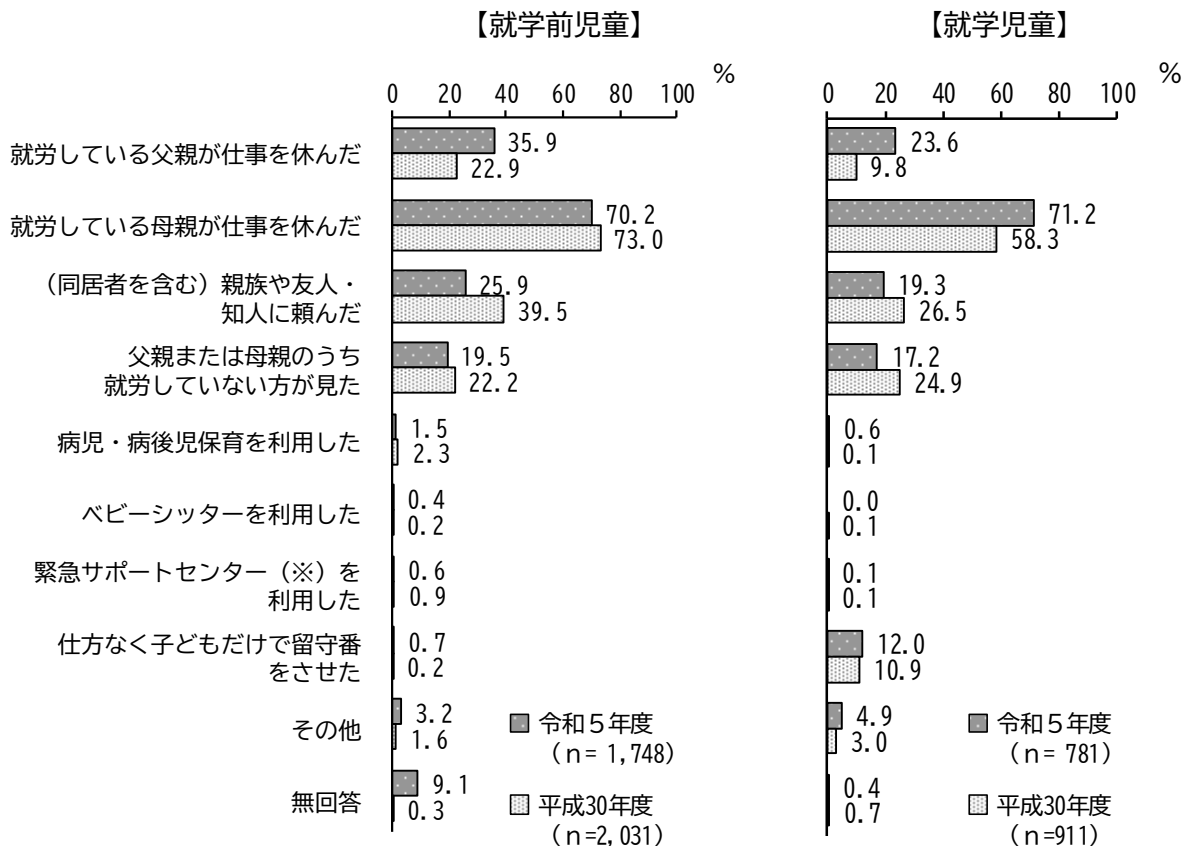


### ⑬ 子どもが病気やけがの際の対処方法（複数回答）

就学前児童では、「就労している母親が仕事を休んだ」が70.2%と最も高く、次いで「就労している父親が仕事を休んだ」が35.9%、「（同居者を含む）親族や友人・知人に頼んだ」が25.9%などとなっています。

就学児童では、「就労している母親が仕事を休んだ」が71.2%と最も高く、次いで「就労している父親が仕事を休んだ」が23.6%、「（同居者を含む）親族や友人・知人に頼んだ」が19.3%などとなっています。

前回調査及び今回調査ともに、就学前児童及び就学児童のいずれにおいても「就労している母親が仕事を休んだ」が最も高い割合になっています。

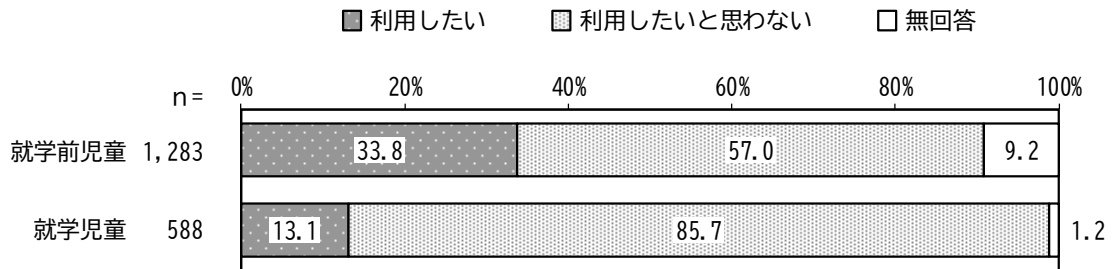


※ 「緊急サポートセンター」…会員組織による子育て支援活動で、病児・病後児の預かりや急な預かりを行います。

⑭ 病児・病後児のための保育施設等の利用希望の有無（単数回答）

就学前児童では、「利用したい」が33.8%、「利用したいと思わない」が57.0%となっています。

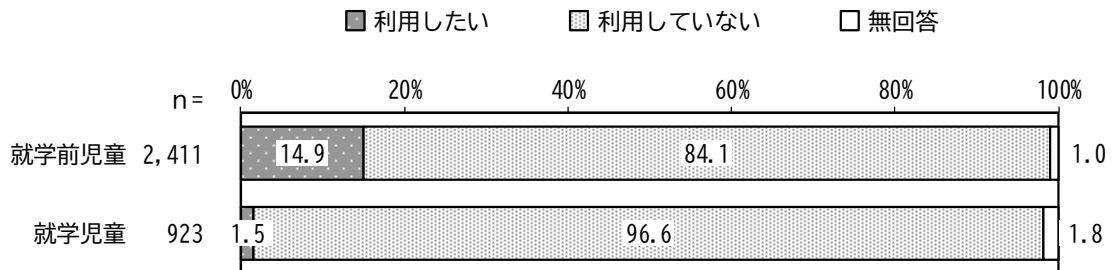
就学児童では、「利用したい」が13.1%、「利用したいと思わない」が85.7%となっています。



⑮ 一時預かり等の利用の有無（単数回答）

就学前児童では、「利用している」が14.9%、「利用していない」が84.1%となっています。

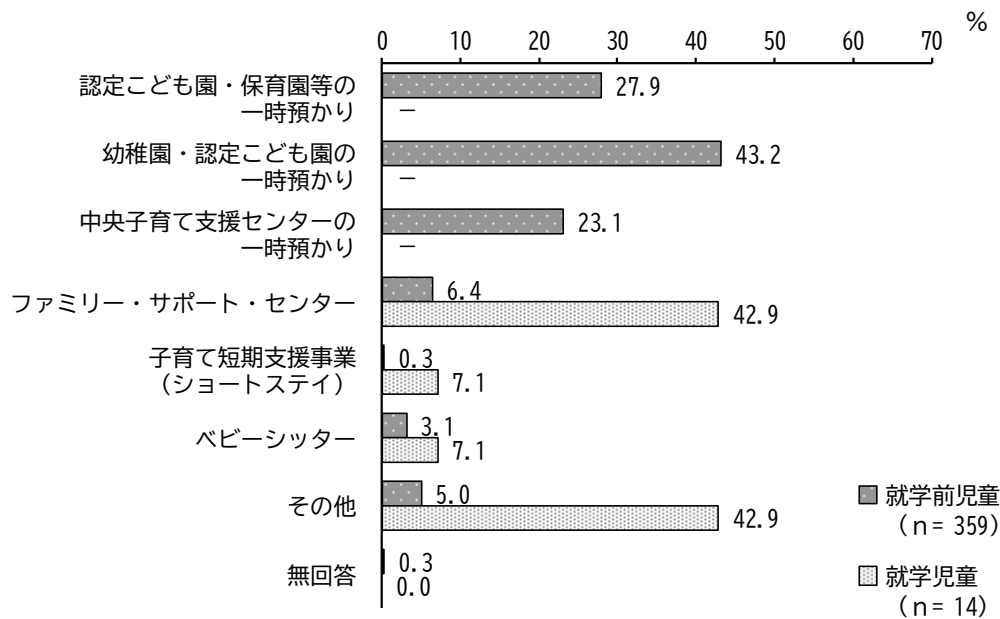
就学児童では、「利用している」が1.5%、「利用していない」が96.6%となっています。



#### ⑩ 一時預かり等で利用している事業（複数回答）

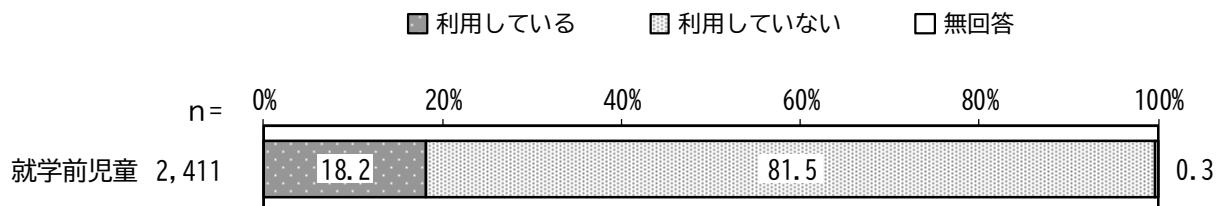
就学前児童では、「幼稚園・認定こども園の一時預かり」が43.2%と最も高く、次いで「認定こども園・保育園等の一時預かり」が27.9%、「中央子育て支援センターの一時預かり」が23.1%などとなっています。

就学児童では、「ファミリー・サポート・センター」が42.9%と最も高く、次いで「子育て短期支援事業（ショートステイ）」、「ベビーシッター」が7.1%となっています。



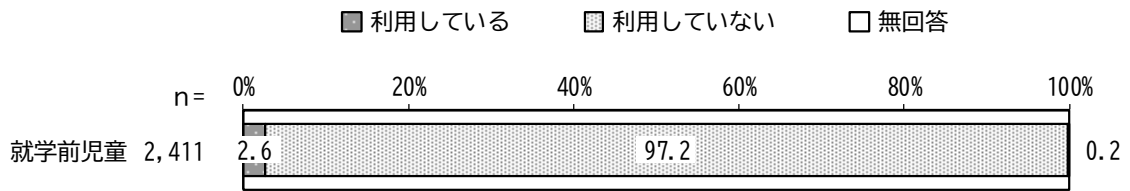
#### ⑪ 子育て支援センター等の利用の有無（単数回答）

「利用している」が18.2%、「利用していない」が81.5%となっています。



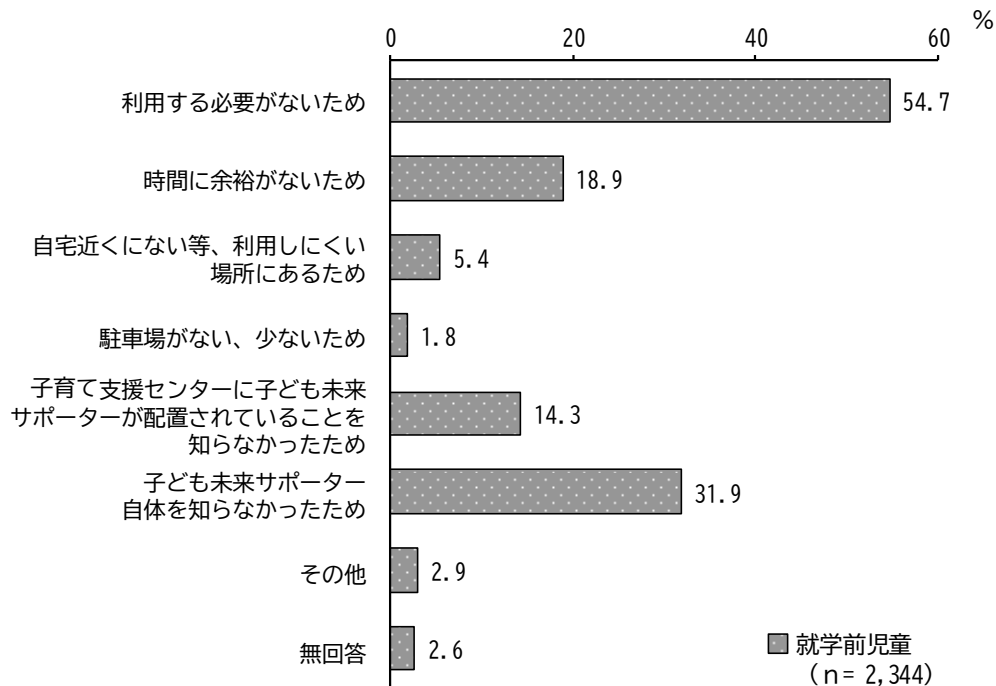
### ⑱ 子ども未来サポーター等の利用の有無（単数回答）

「利用している」が2.6%、「利用していない」が97.2%となっています。



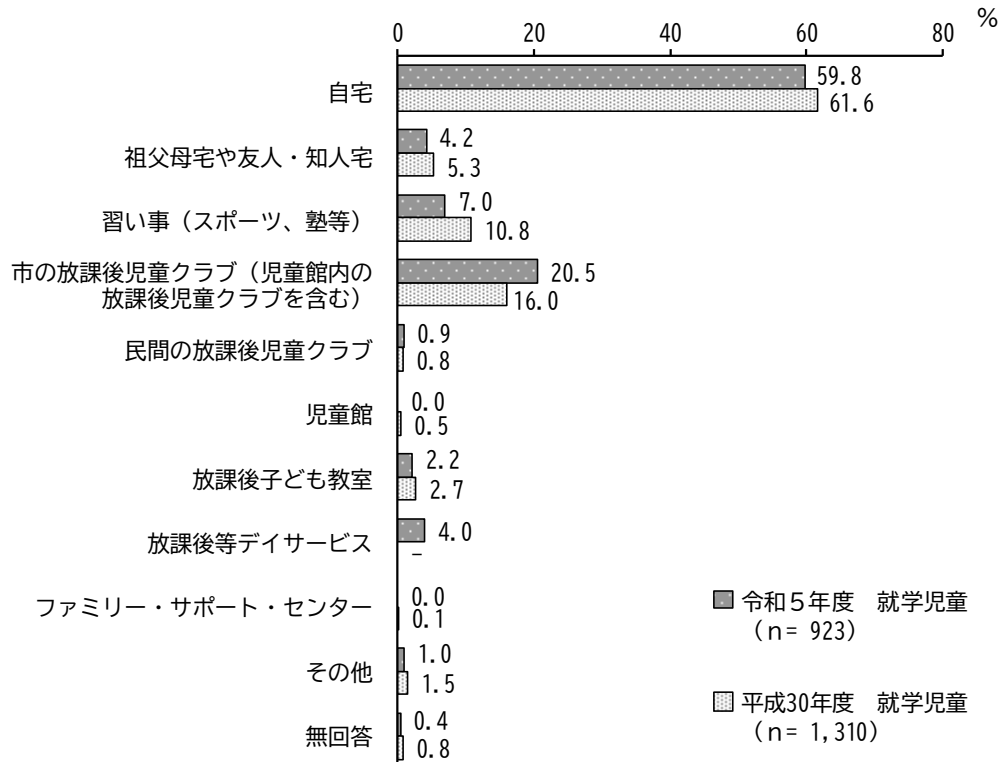
### ⑲ 子ども未来サポーター等を利用していない理由（複数回答）

「利用する必要がないため」が54.7%と最も高く、次いで「子ども未来サポーター自体を知らなかったため」が31.9%、「時間に余裕がないため」が18.9%などとなっています。



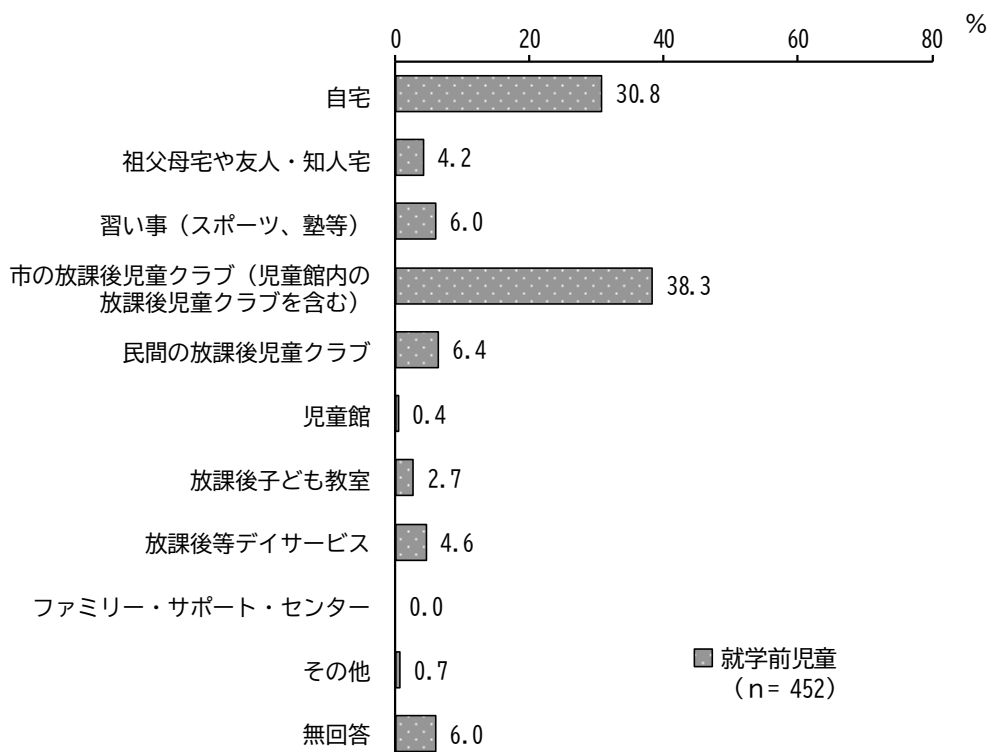
## ⑳ 放課後の時間を過ごす主な場所（単数回答）

「自宅」が59.8%と最も高く、次いで「市の放課後児童クラブ（児童館内の放課後児童クラブを含む）」が20.5%、「習い事（スポーツ、塾等）」が7.0%などとなっていて、「市の放課後児童クラブ（児童館内の放課後児童クラブを含む）」が前回調査よりも高くなっています。



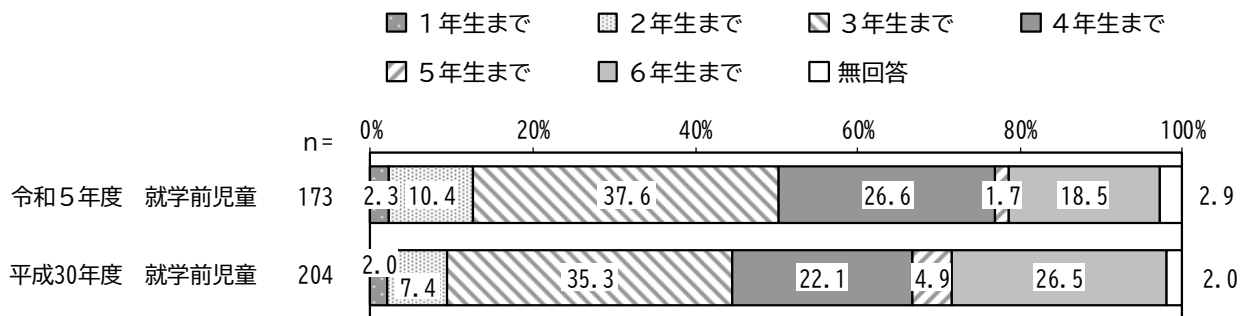
## ㉑ 小学校就学後、放課後の時間を過ごさせたい主な場所（単数回答）

「市の放課後児童クラブ（児童館内の放課後児童クラブを含む）」が38.3%と最も高く、次いで「自宅」が30.8%、「民間の放課後児童クラブ」が6.4%などとなっています。



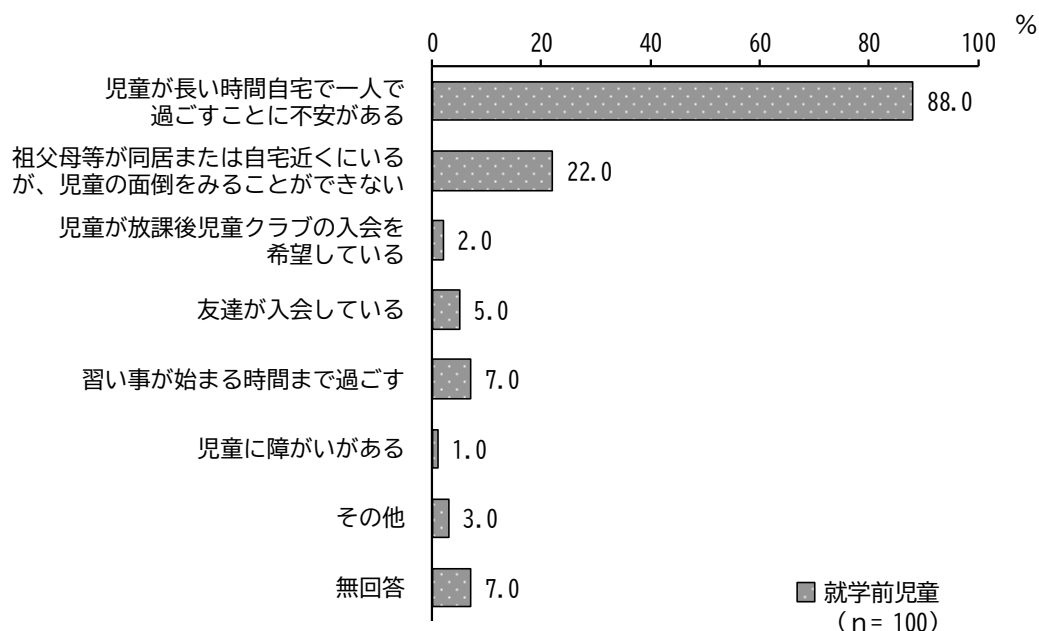
## ② 市の放課後児童クラブを利用予定の学年（単数回答）

「3年生まで」が37.6%と最も高く、次いで「4年生まで」が26.6%、「6年生まで」が18.5%などとなっています。



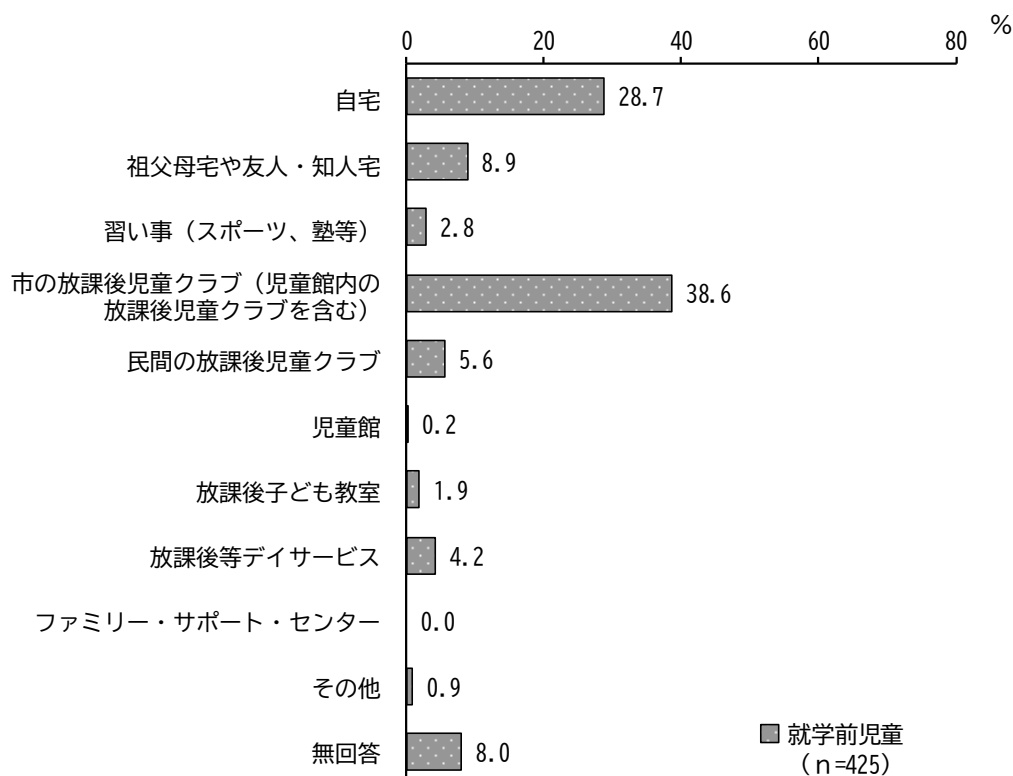
## ③ 放課後児童クラブの利用を希望する理由（複数回答）

「児童が長い時間自宅で一人で過ごすことに不安がある」が88.0%と最も高く、次いで「祖父母等が同居または自宅近くにいて、児童の面倒をみることができない」が22.0%、「習い事が始まる時間まで過ごす」が7.0%などとなっています。



②④ 小学校就学後、長期休暇中の日中の時間を過ごさせたい主な場所（単数回答）

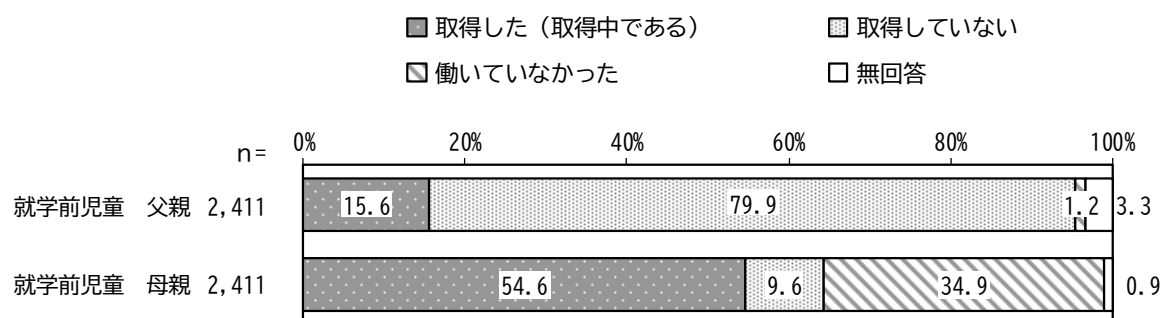
「市の放課後児童クラブ（児童館内の放課後児童クラブを含む）」が38.6%と最も高く、次いで「自宅」が28.7%、「祖父母宅や友人・知人宅」が8.9%などとなっています。



②⑤ 育児休業の取得状況（単数回答）

父親では、「取得した（取得中である）」が15.6%、「取得していない」が79.9%、「働いていなかった」が1.2%となっています。

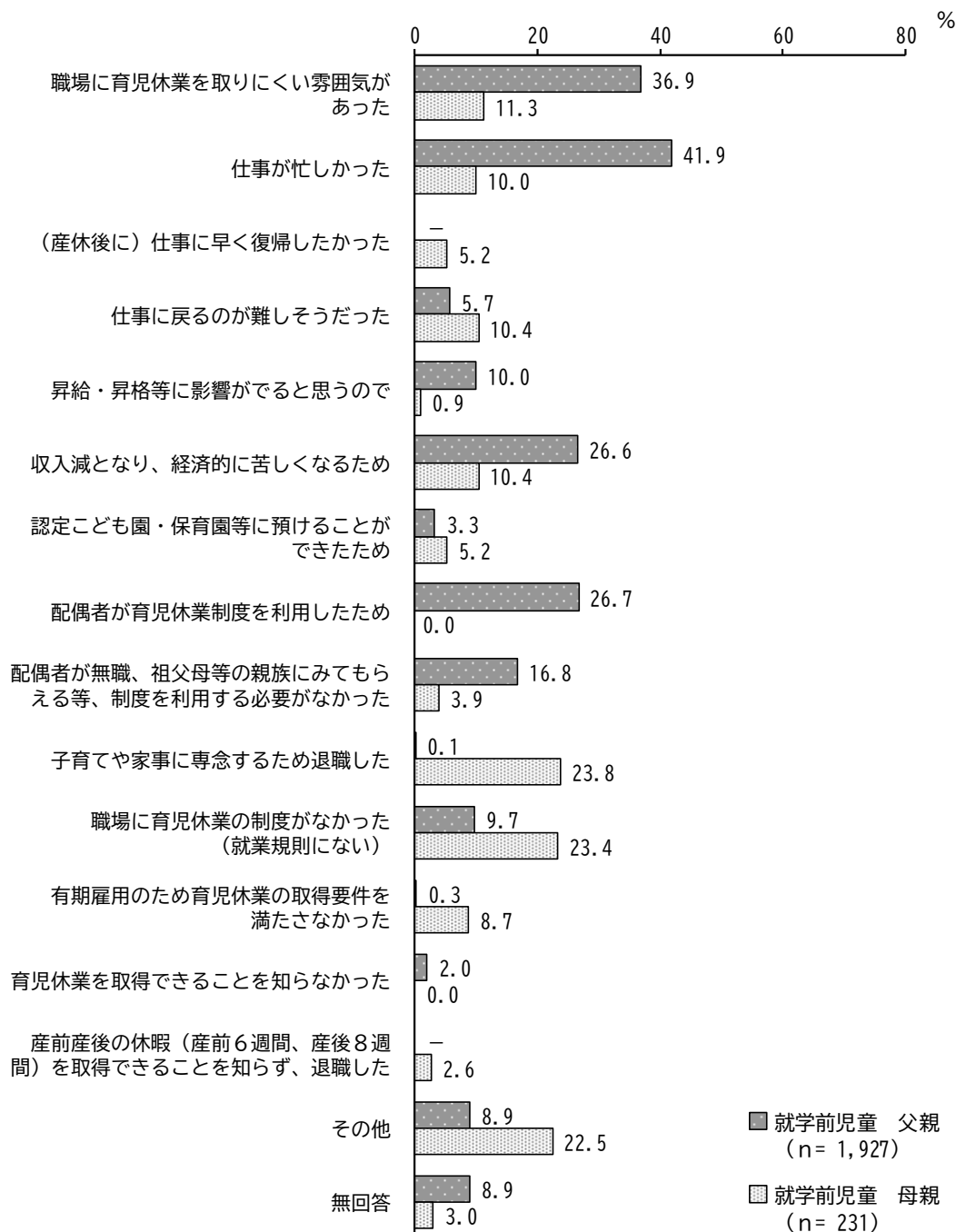
母親では、「取得した（取得中である）」が54.6%、「取得していない」が9.6%、「働いていなかった」が34.9%となっています。



## ②⑥ 育児休業を取得していない理由（複数回答）

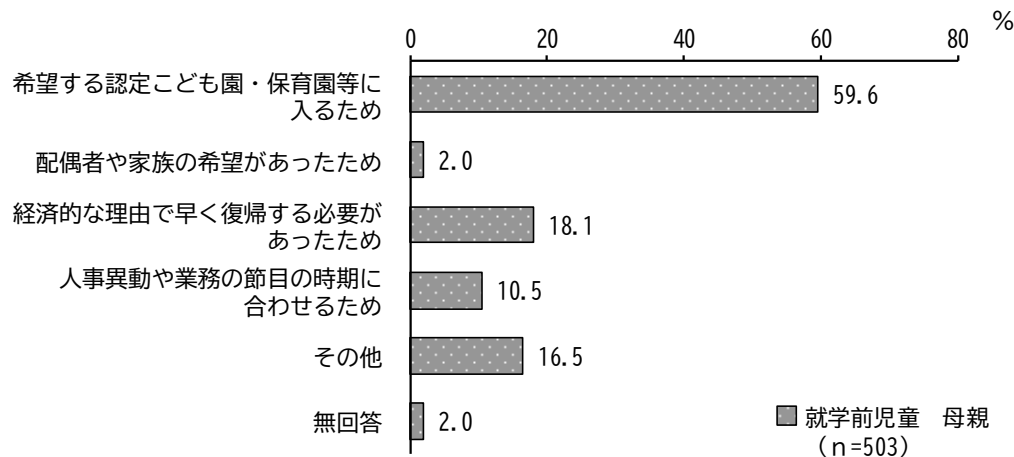
父親では、「仕事が忙しかった」が41.9%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が36.9%、「配偶者が育児休業制度を利用したため」が26.7%、「収入減となり、経済的に苦しくなるため」が26.6%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえる等、制度を利用する必要がなかった」が16.8%などとなっています。

母親では、「子育てや家事に専念するため退職した」が23.8%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則にない）」が23.4%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が11.3%、「仕事に戻るのが難しそうだった」、「収入減となり、経済的に苦しくなるため」が10.4%などとなっています。



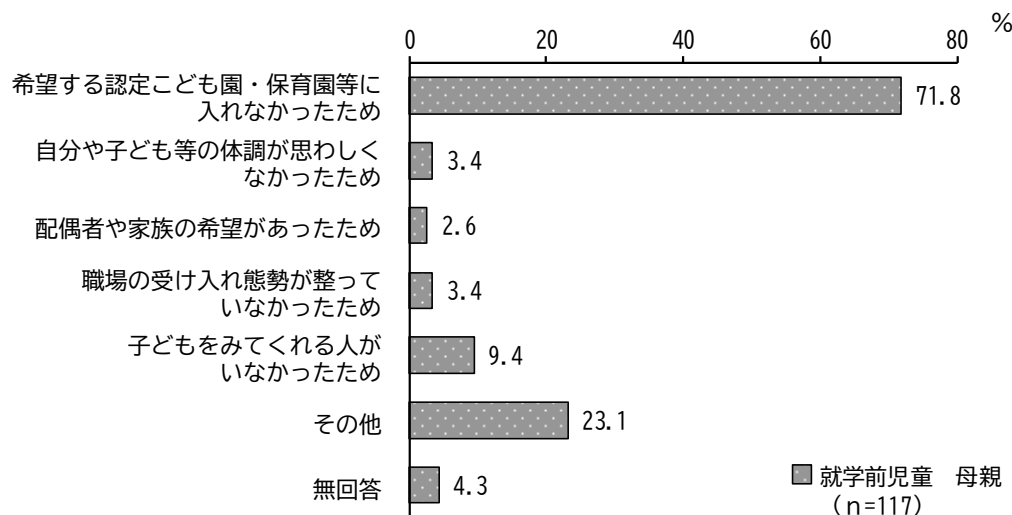
②⑦ 育児休業取得後、希望より早く職場復帰した理由（複数回答）

「希望する認定こども園・保育園等に入るため」が59.6%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が18.1%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が10.5%などとなっています。



②⑧ 育児休業取得後、希望より遅く職場復帰した理由（複数回答）

「希望する認定こども園・保育園等に入れなかったため」が71.8%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」が9.4%、「自分や子ども等の体調が思わしくなかったため」、「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」が3.4%などとなっています。



## ② 各種事業の認知度・利用状況（単数回答）

---

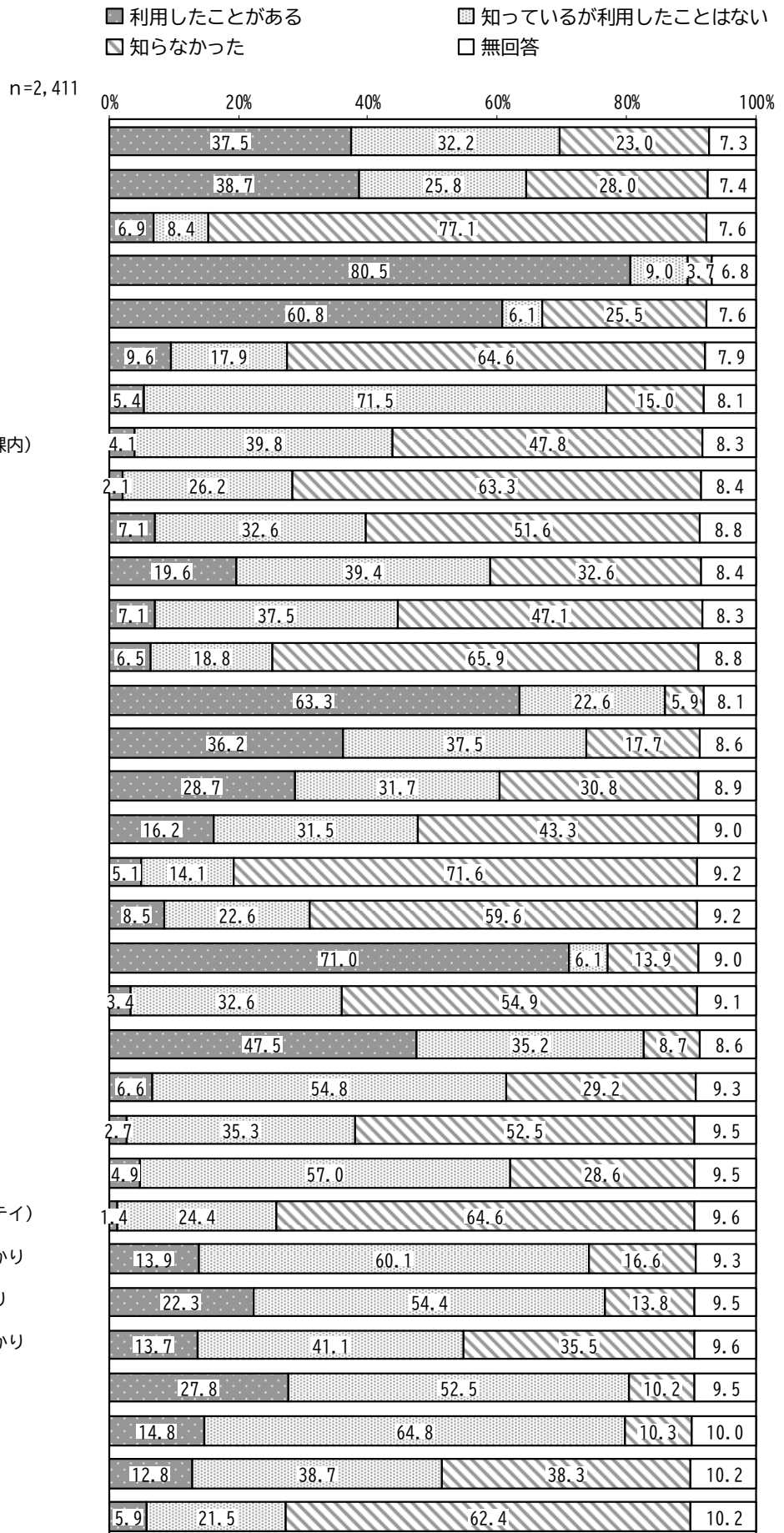
就学前児童の保護者の認知度をみると、『知っている』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」）が、33事業のうち19事業で50%以上となっています。「しずおか子育て優待カード」が89.5%と最も高く、次いで「子育て支援センター」が85.9%、「児童館」が82.7%、「延長保育」が80.3%、「放課後児童クラブ」が79.6%、「妊婦健康診査」が77.1%、「児童相談所」が76.9%、「幼稚園・認定こども園の一時預かり」が76.7%、「認定こども園・保育園等の一時預かり」が74.0%、「あそび・子育ておしゃべりサロン」が73.7%の順となっています。

利用状況をみると、「利用したことがある」が、「しずおか子育て優待カード」で80.5%と最も高く、次いで「妊婦健康診査」で71.0%、「子育て支援センター」で63.3%、「こんにちは赤ちゃん事業」で60.8%の順となっています。

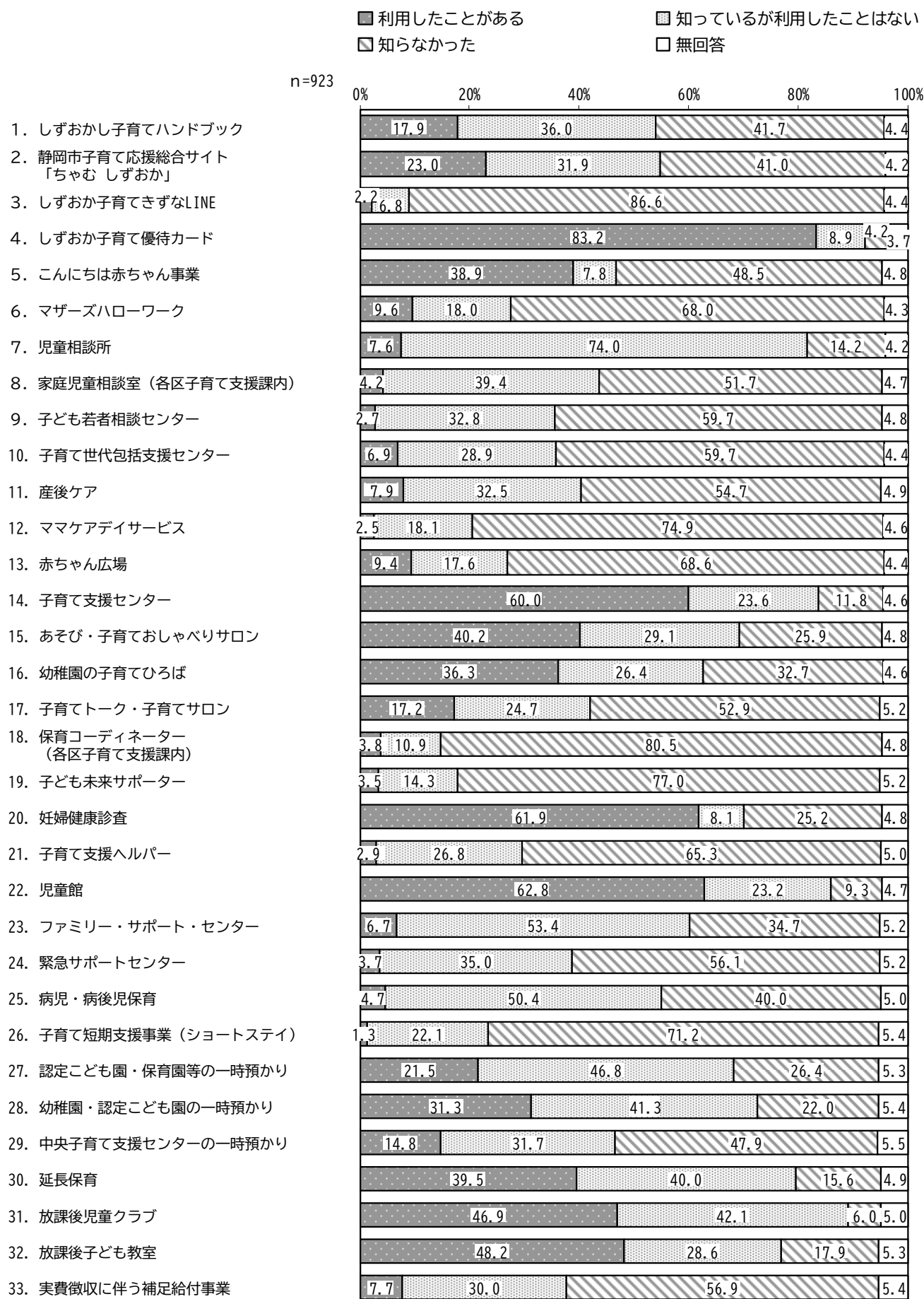
就学児童の保護者の認知度をみると、『知っている』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」）が、33事業のうち16事業で50%以上となっています。「しずおか子育て優待カード」が92.1%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ」が89.0%、「児童館」が86.0%、「子育て支援センター」が83.6%、「児童相談所」が81.6%、「延長保育」が79.5%、「放課後子ども教室」が76.8%、「幼稚園・認定こども園の一時預かり」が72.6%、「妊婦健康診査」が70.0%の順となっています。

利用状況をみると、「利用したことがある」が、「しずおか子育て優待カード」で83.2%と最も高く、次いで「児童館」で62.8%、「妊婦健康診査」で61.9%、「子育て支援センター」で60.0%の順となっています。

## 【就学前児童】



## 【就学児童】



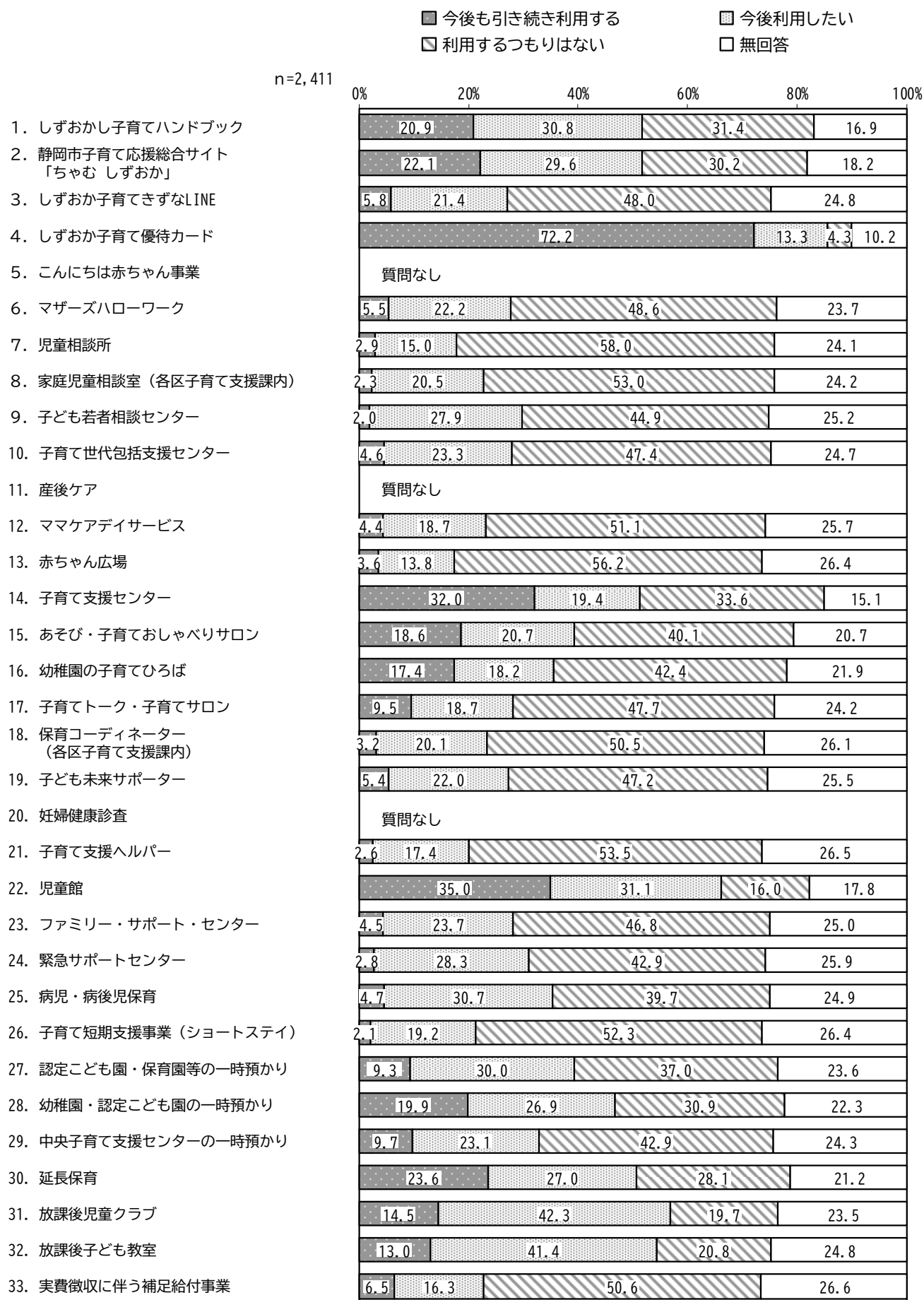
### ③⑩ 各種事業の今後の利用希望（単数回答）

---

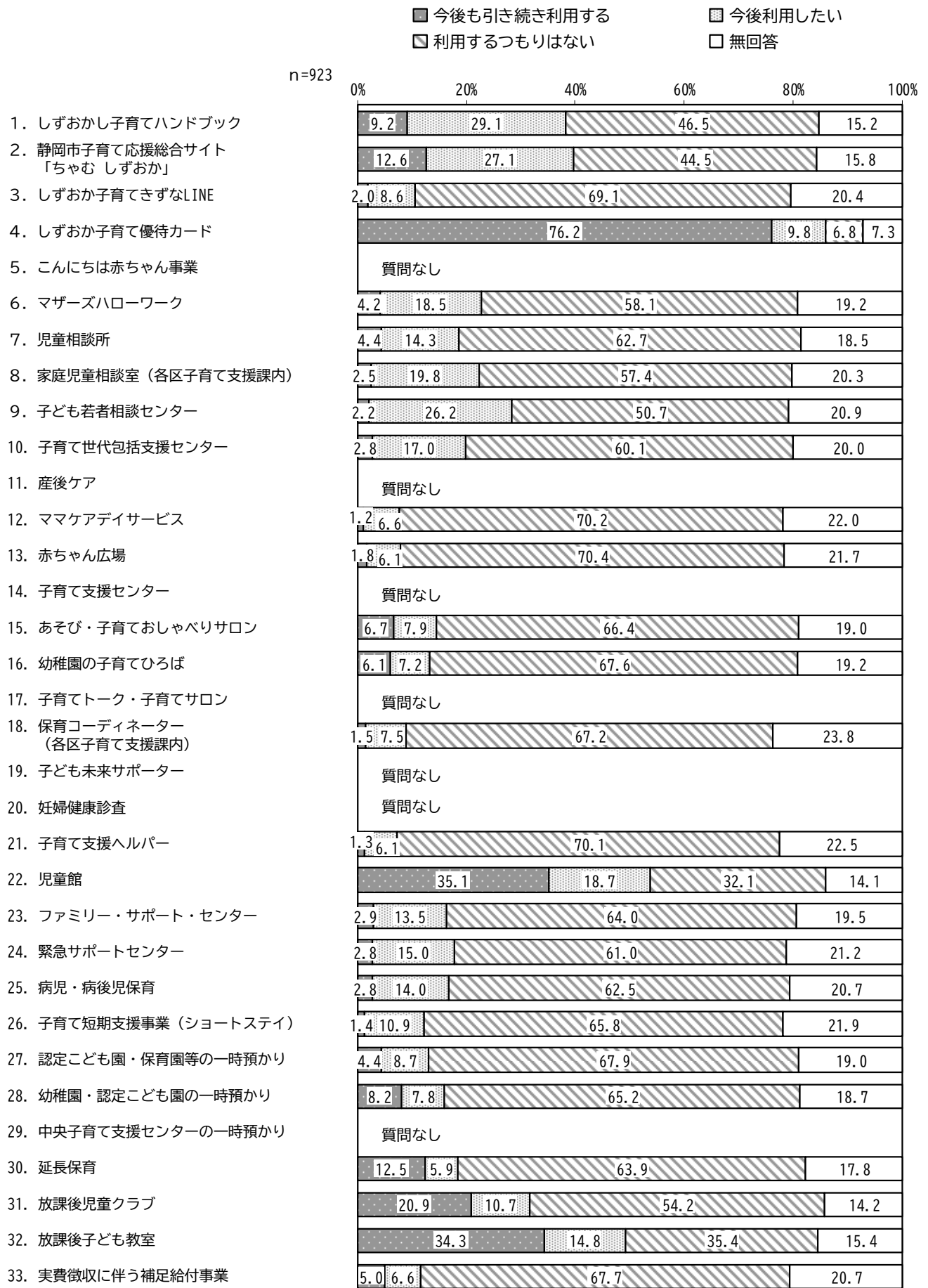
就学前児童の保護者の利用希望をみると、『利用したい』（「今後も引き続き利用する」＋「今後利用したい」）が、33事業のうち8事業で50%以上となっています。「しずおか子育て優待カード」が85.5%で最も高く、次いで「児童館」が66.1%、「放課後児童クラブ」が56.8%、「放課後子ども教室」が54.4%、「しずおかし子育てハンドブック」、「静岡市子育て応援総合サイト「ちゃむ しずおか」が51.7%、「子育て支援センター」が51.4%、「延長保育」が50.6%の順となっています。

就学児童の保護者の利用希望をみると、『利用したい』（「今後も引き続き利用する」＋「今後利用したい」）が、26事業のうち2事業で50%以上となっています。「しずおか子育て優待カード」が86.0%と最も高く、次いで「児童館」が53.8%となっています。

## 【就学前児童】



## 【就学児童】



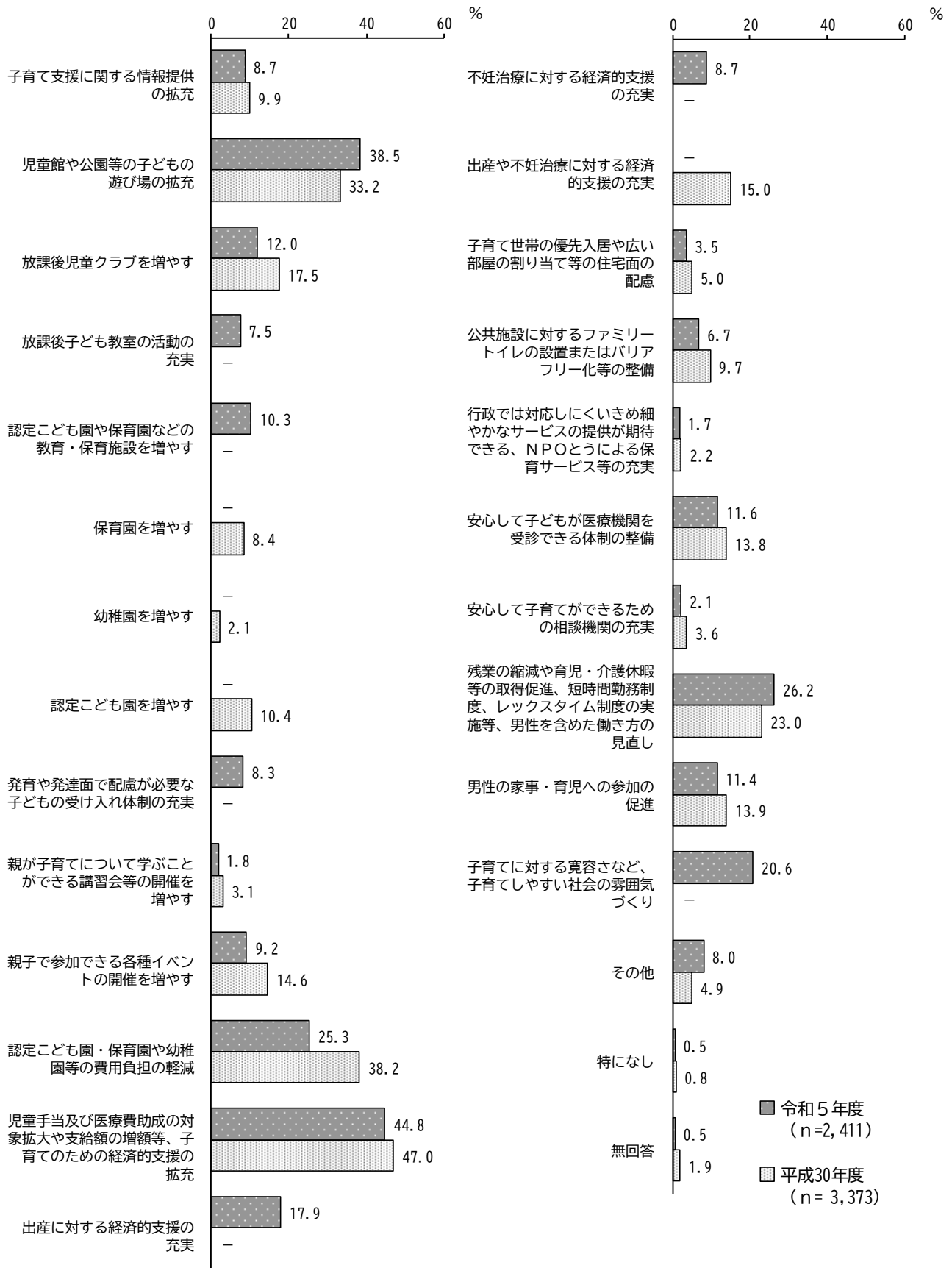
③① 子育てを支援するために、効果が高いと考えられる施策または充実を図って欲しいと期待する施策（複数回答）

---

就学前児童では、「児童手当及びこども医療費助成の対象拡大や支給額の増額等、子育てのための経済的支援の拡充」が44.8%と最も高く、次いで「児童館や公園等の子どもの遊び場の拡充」が38.5%、「残業の縮減や育児・介護休暇等の取得促進、短時間勤務制度、フレックスタイム制度の実施等、男性を含めた働き方の見直し」が26.2%、「認定こども園・保育園や幼稚園等の費用負担の軽減」が25.3%、「子育てに対する寛容さなど、子育てしやすい社会の雰囲気づくり」が20.6%などとなっています。

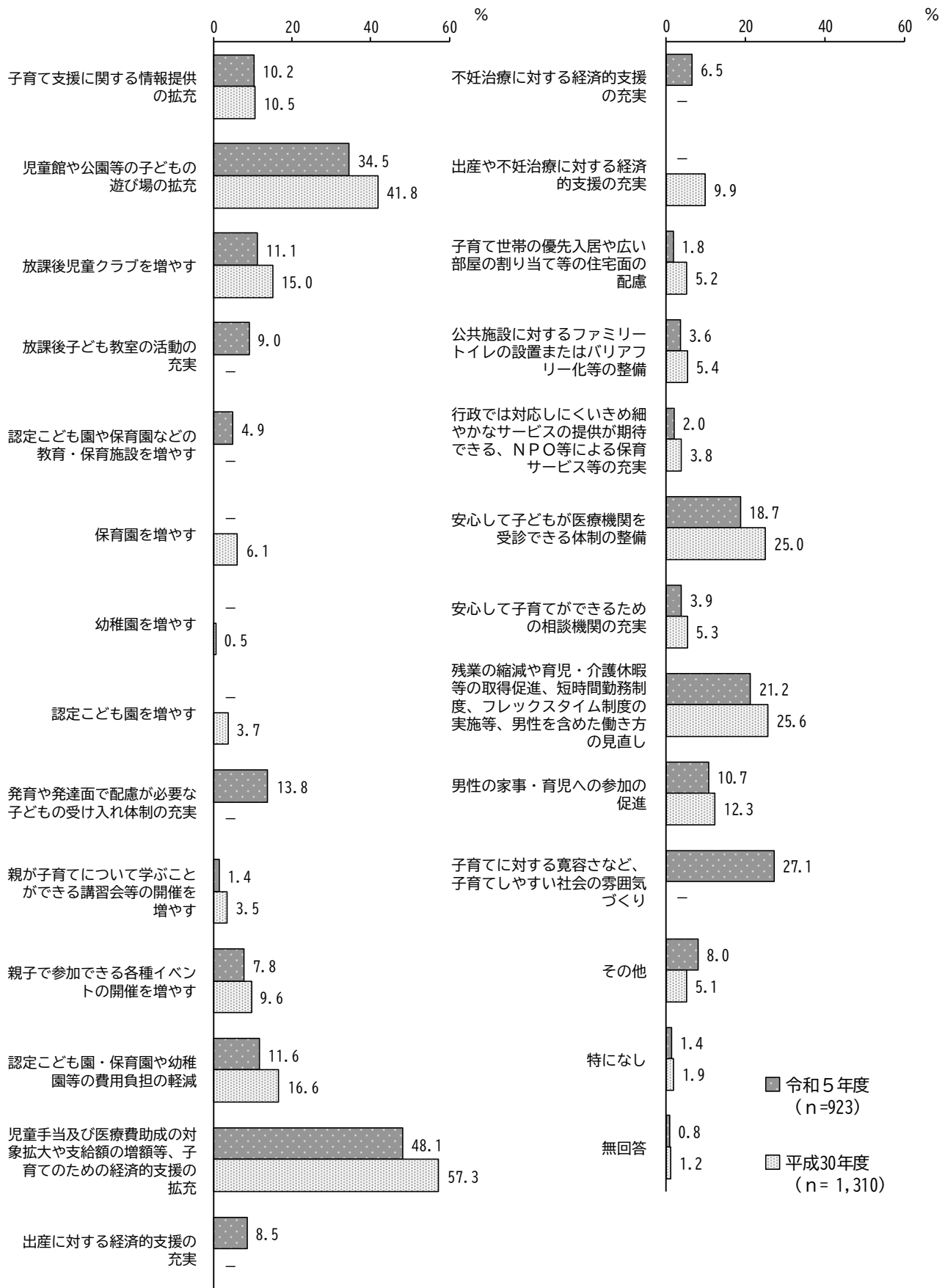
就学児童では、「児童手当及びこども医療費助成の対象拡大や支給額の増額等、子育てのための経済的支援の拡充」が48.1%と最も高く、次いで「児童館や公園等の子どもの遊び場の拡充」が34.5%、「子育てに対する寛容さなど、子育てしやすい社会の雰囲気づくり」が27.1%、「残業の縮減や育児・介護休暇等の取得促進、短時間勤務制度、フレックスタイム制度の実施等、男性を含めた働き方の見直し」が21.2%、「安心して子どもが医療機関を受診できる体制の整備」が18.7%などとなっています。

## 【就学前児童】



※ 「—」は令和5年度調査または平成30年度調査で選択肢がありませんでした

## 【就学児童】



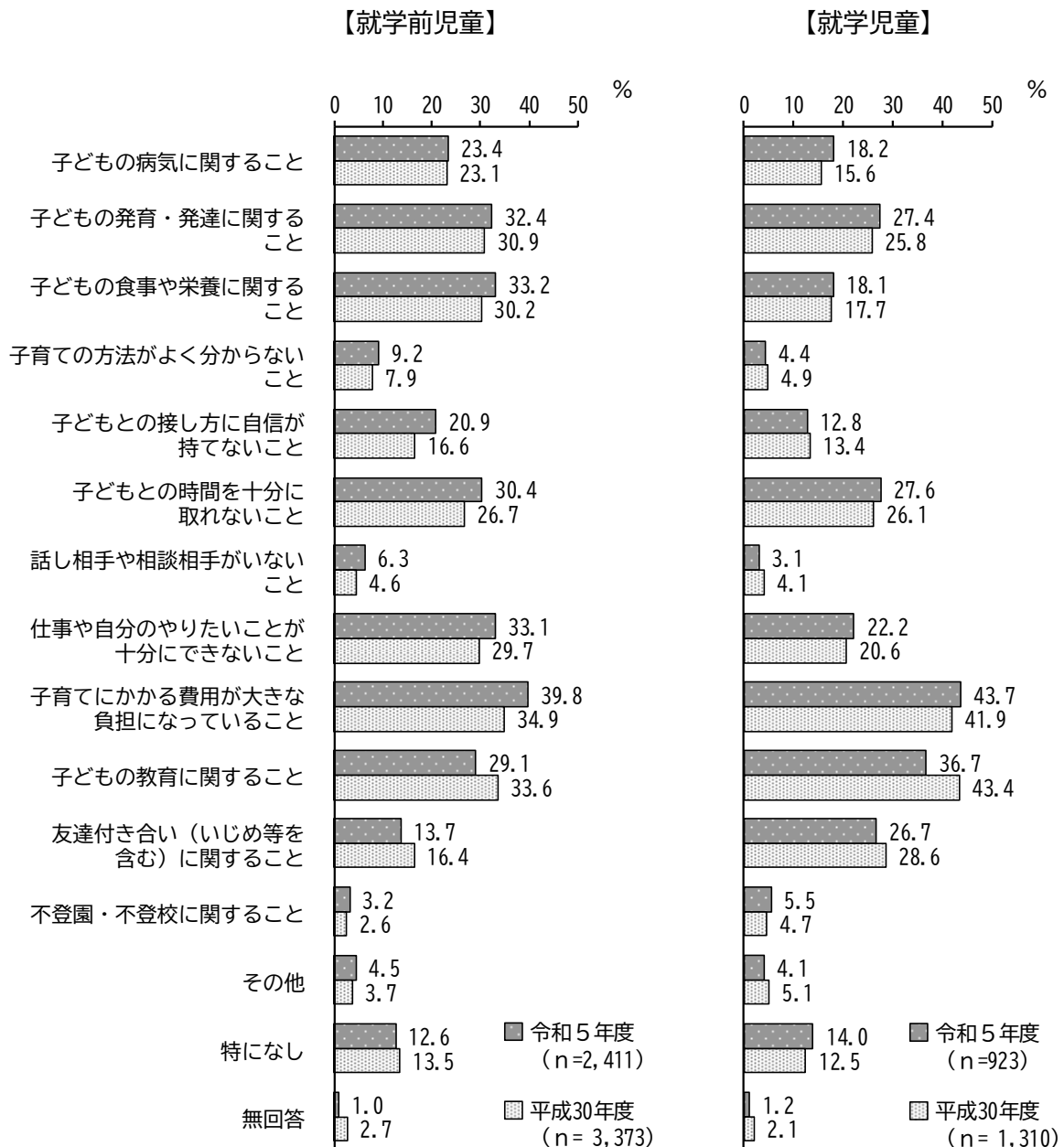
※ 「—」は令和5年度調査または平成30年度調査で選択肢がありませんでした

### ⑫ 子育てについて日ごろ悩んでいることや不安に思っていること（複数回答）

就学前児童では、「子育てにかかる費用が大きな負担になっていること」が39.8%と最も高く、次いで「子どもの食事や栄養に関すること」が33.2%、「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」が33.1%などとなっています。

就学児童では、「子育てにかかる費用が大きな負担になっていること」が43.7%と最も高く、次いで「子どもの教育に関すること」が36.7%、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が27.6%などとなっています。

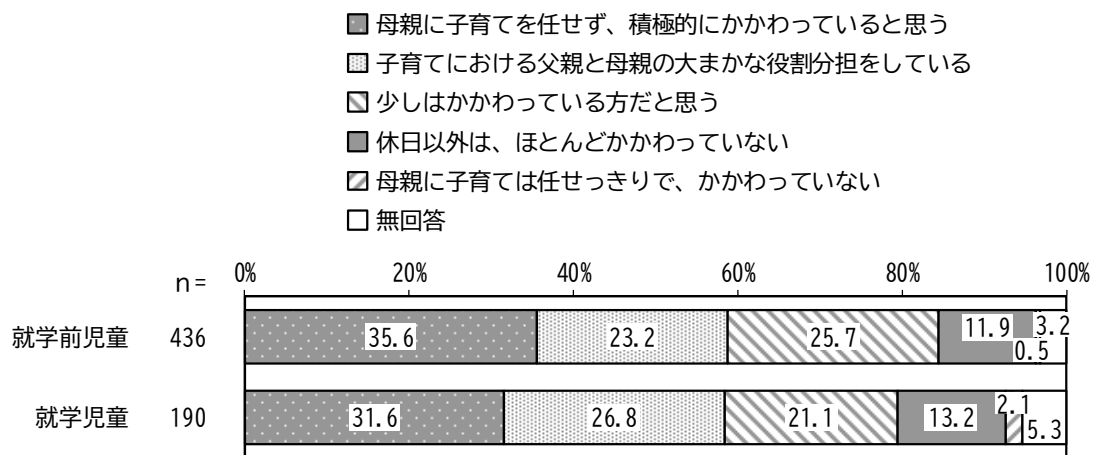
平成30年度（2018年度）調査と比較すると、就学前児童では、平成30年度（2018年度）調査、令和5年度（2023年度）調査ともに「子育てにかかる費用が大きな負担になっていること」が最も高くなっています。就学児童では、平成30年度（2018年度）調査は「子どもの教育に関すること」が最も高くなっていますが、令和5年度（2023年度）調査は「子育てにかかる費用が大きな負担になっていること」が最も高くなっています。



### ③ 父親からみた父親の子育てへのかかわり（単数回答）

就学前児童では、「母親に子育てを任せず、積極的にかかわっていると思う」が35.6%と最も高く、次いで「少しはかかわっている方だと思う」が25.7%、「子育てにおける父親と母親の大まかな役割分担をしている」が23.2%などとなっています。

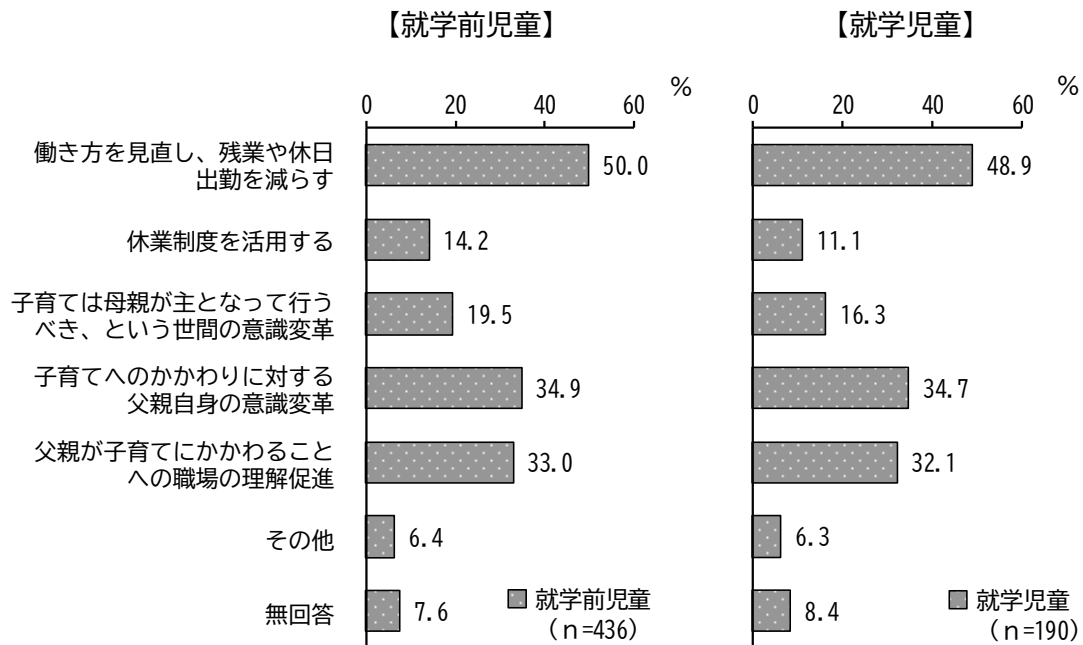
就学児童では、「母親に子育てを任せず、積極的にかかわっていると思う」が31.6%と最も高く、次いで「子育てにおける父親と母親の大まかな役割分担をしている」が26.8%、「少しはかかわっている方だと思う」が21.1%などとなっています。



③④ 父親が考える父親が子育てにかかわりやすくするために重要なこと（複数回答）

就学前児童では、「働き方を見直し、残業や休日出勤を減らす」が50.0%と最も高く、次いで「子育てへのかかわりに対する父親自身の意識変革」が34.9%、「父親が子育てにかかわることへの職場の理解促進」が33.0%などとなっています。

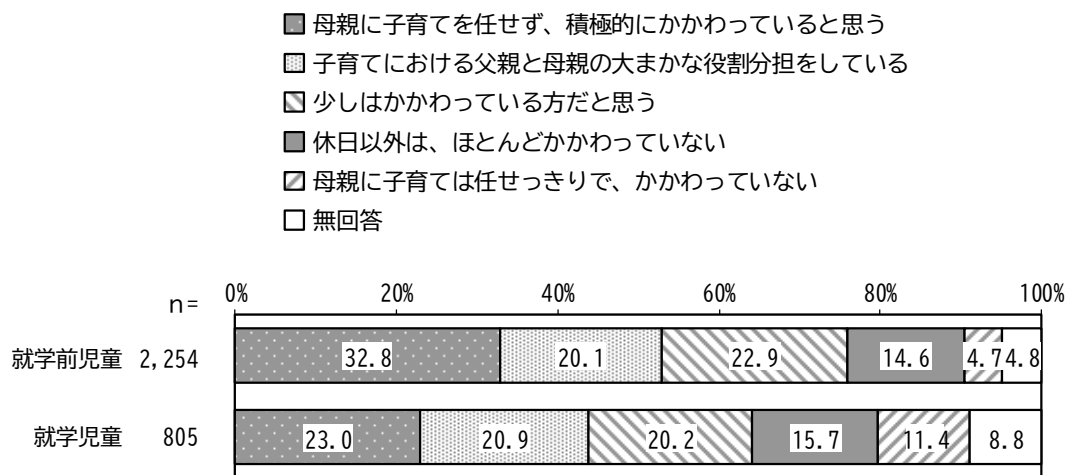
就学児童では、「働き方を見直し、残業や休日出勤を減らす」が48.9%と最も高く、次いで「子育てへのかかわりに対する父親自身の意識変革」が34.7%、「父親が子育てにかかわることへの職場の理解促進」が32.1%などとなっています。



### ③⑤ 母親からみた父親の子育てへのかかわり（単数回答）

就学前児童では、「母親に子育てを任せず、積極的にかかわっていると思う」が32.8%と最も高く、次いで「少しはかかわっている方だと思う」が22.9%、「子育てにおける父親と母親の大まかな役割分担をしている」が20.1%などとなっています。

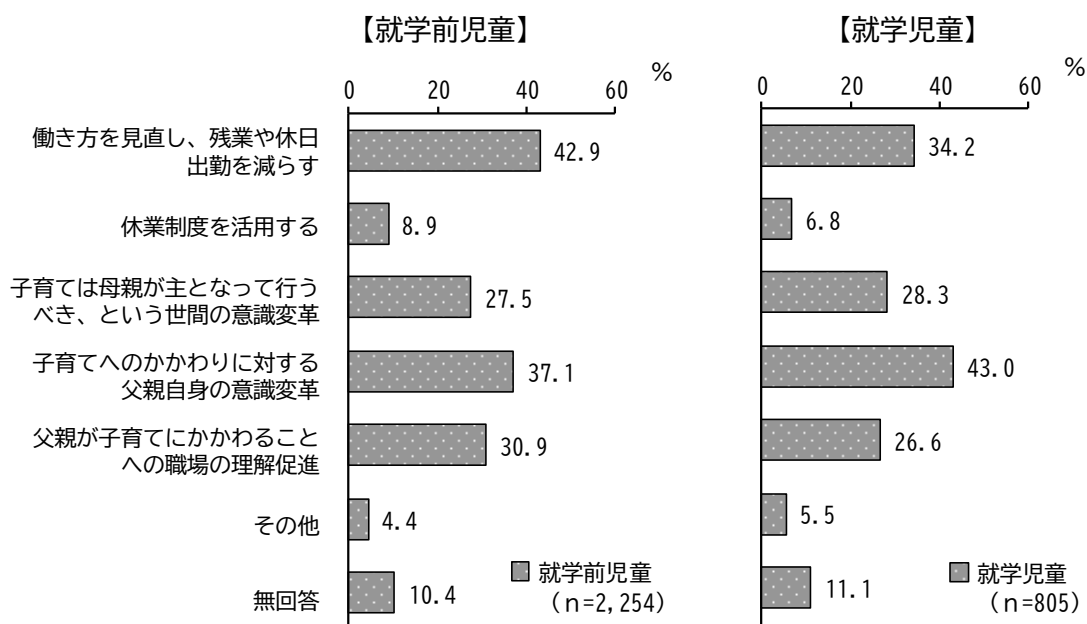
就学児童では、「母親に子育てを任せず、積極的にかかわっていると思う」が23.0%と最も高く、次いで「子育てにおける父親と母親の大まかな役割分担をしている」が20.9%、「少しはかかわっている方だと思う」が20.2%などとなっています。



③⑥ 母親が考える父親が子育てにかかわりやすくするために重要なこと（複数回答）

就学前児童では、「働き方を見直し、残業や休日出勤を減らす」が42.9%と最も高く、次いで「子育てへのかかわりに対する父親自身の意識変革」が37.1%、「父親が子育てにかかわることへの職場の理解促進」が30.9%などとなっています。

就学児童では、「子育てへのかかわりに対する父親自身の意識変革」が43.0%と最も高く、次いで「働き方を見直し、残業や休日出勤を減らす」が34.2%、「子育ては母親が主となっ  
て行すべき、という世間の意識変革」が28.3%などとなっています。



## 第3節 調査結果等から見える課題

### 1 幼児期の教育・保育における待機児童の解消

少子化が進む中であっても、就労する保護者の増加等を背景に、認定こども園をはじめとする幼児期の教育・保育に対するニーズは、依然として高い状態が継続することが見込まれます。

特に、0～2歳児の申込者数は増加傾向で、本市では、令和6年（2024年）4月に認可保育所等利用に係る待機児童が8名発生しています。

早期に待機児童を解消するとともに、少子化が進む中、将来的に過剰な供給となることがないように、社会資源を有効活用しながら、効果的に提供体制を確保していく必要があります。

### 2 放課後児童クラブにおける待機児童の解消

就学児童が放課後の時間を主に過ごす場所として、放課後児童クラブは重要な居場所になっており、小学校高学年まで利用を希望する保護者の割合も高まっています。

今後も、働く保護者の増加を踏まえながら提供体制を確保し、待機児童の解消と利用しやすいの向上を図り、少子化や、それに伴う小学校の統廃合等の状況変化に対応しながら、児童が安全・安心に放課後を過ごすことができる場所を提供していく必要があります。

### 3 子育て家庭を支える支援体制の充実

近年、就労している母親の割合が増加する中、仕事と子育ての両立が大きな課題となっています。

例えば、子どもが病気になった際の対応としては、「母親が仕事を休んで対応する」という回答割合が高く、病児保育等、働く保護者を支援する取組を拡充していく必要があります。

また、「子育てについて気軽に相談ができる人がいない、場所がない」と回答した保護者の割合は増加の傾向にあり、安心して、妊娠・出産、子育てができるよう、こども家庭センターや子育て支援センター等の身近な場所において、妊娠期から子育て期にわたる子どもとその保護者の心身ケアなどの総合的な相談支援体制を構築する必要があります。

引き続き、子ども・子育て支援の取組を確実に実施するとともに、取組に関する情報提供を積極的に行いながら、保護者が必要な支援を受けられることができる環境づくりを進めていく必要があります。